令 和 3 年 版

消 防 概 要

名 取 市 消 防 本 部

はじめに

この概要は、令和２年度中における名取市の主な消防事象を統計的に収録したものであります。これを通して、本市消防行政の一端をご理解いただきますとともに、防火防災の一助にご活用賜れば幸いと存じます。

なお、火災・救急等の災害統計は暦年により、その他の関係事業・事項については会計年度をもって表していますが、表中年月日等を明示したものは、その時点での現況を表しています。

令和３年８月

名取市消防本部

目　　次

はじめに

Ⅰ　市勢概要

1.名取市消防本部の統計概要 …… 1
2.名取市の概要 …… 2
3.名取市の位置・管内図 …… 3
4.名取市の世帯数・人口・市域面積の変遷 …… 4

Ⅱ　総　　務

5.名取市消防本部の沿革 …… 5
6.消防本部・消防署の機構 …… 12
7.消防庁舎概要 …… 12
8.歴代消防長・次長・署長 …… 13
9.消防費予算額・決算額の状況 …… 14
10.消防職員数及び配置状況 …… 15
11.消防職員技術資格取得状況 …… 15
12.階級別年齢別職員数 …… 16
13.階級別勤続年数別職員数 …… 17

Ⅲ　消　防　団

14.名取市消防団の沿革 …… 18
15.消防団主要行事 …… 22
16.消防団の機構及び人員 …… 23
17.歴代消防団長・副団長 …… 24
18.階級別年齢別団員数 …… 25
19.階級別勤続年数別団員数 …… 26
20.消防団員数及び配置状況 …… 27
21.職業別団員数 …… 27
22.分団別消防機械器具配置状況 …… 28
23.分団別消防用ホース配置状況 …… 28
24.消防団施設一覧 …… 29
25.消防団車両配置状況 …… 30
26.消防団員出動状況 …… 31
27.消防団員火災出動状況 …… 31

Ⅳ　予　　防

28.防火対象物及び立入検査実施状況 …… 32
29.建築確認申請状況 …… 33
30.防火管理者選任及び消防計画届出状況 …… 34
31.中高層防火対象物調 …… 35
32.用途別消防用設備等の設置状況 …… 36
33.危険物施設数及び立入検査実施状況 …… 37
34.危険物施設の許認可・検査・承認・届出状況 …… 37
35.火薬類貯蔵施設及び保安検査・立入検査実施状況 …… 38
36.火薬類許可・届出処理件数 …… 38
37.予防関係諸届出状況 …… 38

Ⅴ　警　　防

38.消防力の基準と現有消防力の比較 …… 39
39.消防吏員出動状況 …… 39
40.消防本部・署車両配置状況 …… 40
41.消防資器材保有状況 …… 41
42.消防水利地区別配置状況 …… 42
43.消火栓管径別状況 …… 42
44.消防相互応援協定等締結状況 …… 43

Ⅵ　通信・指令
45.通信指令系統図（有線） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
46.通信指令系統図（無線） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
47.通信指令施設一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
48.消防救急無線局一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
49.災害通報入電状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
50.病院情報提供状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
51.気象観測状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
Ⅶ　火　　災
52.令和２年の火災の実態 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
53.火災統計総括表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54
54.火災の概況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
55.出火原因別火災件数・損害額 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
56.地区別火災発生状況と損害額 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
57.火災覚知別件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58
58.曜日別出火件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
59.時間別出火件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
60.初期消火器具等使用状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
61.建物用途別出火状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
62.消防署火災出動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61
63.過去の火災発生件数及び損害額 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62
64.名取市の主な火災 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
Ⅷ　救急・救助
65.令和２年の救急・救助概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
66.救急統計総括表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
67.救急月別・事故別出場件数及び搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
68.地区別救急出場件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
69.事故別救急出場件数及び搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
70.事故別傷病程度状況（医療機関搬送分のみ） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
71.事故別・曜日別救急出場件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72
72.事故別・年齢別救急搬送人員状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
73.時間別救急出場件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
74.市町村別傷病者搬送先状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
75.発生場所別搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74
76.不搬送別状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
77.病院収容所要時間別搬送人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
78.救急隊員の行った応急処置（特定行為等） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
79.救急隊別出場件数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
80.救急業務発足以来の救急出場推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
81.応急手当普及啓発活動状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77
82.月別救助出動状況及び救助人員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
83.救助完了時間別状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
84.救助業務過去１０年間の救助出動推移 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79
Ⅸ　消防協力団体
85.消防協力団体の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
86.名取市防火協力会連合会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
87.外郭団体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
88.名取市婦人防火クラブ連絡協議会 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
89.幼年消防クラブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82

Ⅰ　市勢概要

名　取　市　章

（昭和 34 年 10 月 1 日制定）

名取の名を図案化し、新名取市の融和と発展を表徴したものである。

名取市マスコットキャラクター　「カーナくん」

（平成 20 年 6 月）

東北有数の生産量を誇る「カーネーション」、名取市の頭文字「N」を衣装に組み入れ
カーネーションのカーと名取市のナで「カーナくん」と名付けられたものである。

１．名取市消防本部の統計概要

（基準日：令和３年４月１日　ただし、火災等の災害統計は令和２年中）

市内面積	人口・世帯数	署所数	職員数
９８．１８　㎢	人　口　79，459　人 世帯数　32，041世帯	消防本部　１ 消 防 署　１ 出 張 所　３	定数　１０１　人 現有　１０４　人

消防団員数	消防予算	消防車	救急車等
定数　４８０　人 現有　３５３　人	1，135，004 千円	タンク車　４　台 ポンプ車　３　台 化 学 車　１　台	救 急 車　４ 台 救助工作車　１ 台

火災件数	救急件数	救助件数	119 番通報件数
１８　件	３，０６７　件	４６　件	４，３３７　件

消防水利	防火対象物数	危険物施設数	消防協力団体
消 火 栓１，２３６基 防火水槽　１９４基 そ の 他　２８基	２，２０２　件	２８６　件	名取市防火協力会 連合会他　３団体

２．名取市の概要

名取市は、宮城県のほぼ中央に位置し、名取川・阿武隈川の両水系に囲まれた肥沃な土地が広がり、北側を仙台市、南側を岩沼市、西側を村田町と隣接し、東側に太平洋を臨む。市域面積は９８．１８㎢で、東西約１５㎞、南北約８㎞と東西に細長く、地形的な特徴から丘陵部、平野部、海浜部に大きく区分される。

丘陵部は、一部が宮城県自然環境保全地域、緑地環境保全地域に指定されるなど自然環境に恵まれ、北部と南部には潤いのある新市街地が形成されている。平野部は、南北にＪＲ東北本線、幹線道路となる国道４号線が走り、その交通網に沿って中心市街地が形成され、それを囲むように肥沃な農地が広がっている。海浜部は、貞山運河、閖上海岸等の水辺に親しめる空間とともに、閖上漁港や、民営化され年々旅客者数が伸びている東北の空の玄関口である仙台空港を抱える。

交通網は、丘陵部及び丘陵部から沿岸部にかけて高速自動車道が走り、ＪＲ名取駅から仙台空港を軌道で結ぶ仙台空港アクセス鉄道が平成１９年３月に開業するなど、広域交流を実現させる環境を整えてきた。

都市計画は、市全域が仙塩広域都市計画区域内にあり、中心部の増田、名取が丘地区等の一帯と閖上地区、新市街地として整備された丘陵部の相互台、那智が丘、ゆりが丘、みどり台、愛島台、愛の杜、愛島郷が市街化区域として指定され、更に、仙台空港アクセス鉄道沿線に杜せきのした、美田園地区の開発など、名取の新しい都市づくりが進められてきた。

消防体制は、１本部１消防署３出張所の常備消防と１消防団６分団の非常備消防が両輪となって市民の安全・安心を守っているが、近年の急速な社会情勢の変化もあり、施設・機械器具・組織体制等、消防力の充実強化が求められてきた。

そのような中、平成２３年の東日本大震災では本市も甚大な被害を受け、特に沿岸部は津波により壊滅的な被害を受けた。日本全国、更には世界中からの支援を受けながら一歩ずつ復興の歩みを進め、平成３１年４月には被災した閖上地区の閖上出張所及び消防団施設が復旧し運用を開始したほか、令和２年３月３０日には名取市復興達成宣言がなされ、令和２年度を初年度とする第六次長期総合計画が新たにスタートしている。

我々消防も、更なる消防力の充実強化を図り、住民が、安全で、安心して暮らせるまちづくりに邁進する。

３．名取市の位置・管内図

管内図（消防機関等配置図）

４．名取市の世帯数・人口・市域面積の変遷

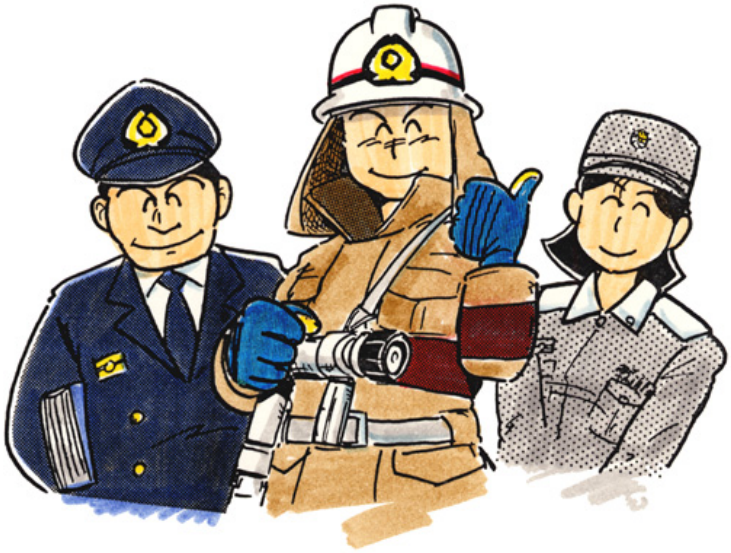
年　次	世帯数	人　　口			市域面積 (km^2)	摘　要
		男	女	計		
昭和３０年	5,228	16,133	16,833	32,966	100.60	10.1 国勢調査人口
４０年	6,563	16,604	17,601	34,205	100.70	〃
５０年	11,224	22,959	23,773	46,732	100.75	〃
６０年	13,123	25,220	25,675	50,895	100.64	〃
平成　２年	14,799	26,422	27,313	53,735	100.64	〃
７年	18,294	30,589	31,404	61,993	100.07	〃
１２年	21,039	33,041	34,175	67,216	100.06	〃
１７年	22,583	33,750	34,912	68,662	100.06	〃
２２年	25,124	35,578	37,556	73,134	100.07	〃
２７年	27,529	37,577	39,091	76,668	98.17	〃
令和　３年	32,041	39,068	40,391	79,459	98.18	4.1 現在

（令和３年４月１日現在）

消防職員一人当たり	世　帯　数	人　　口	面　　積
	314.1 世帯	779.0 人	0.96 km^2

※令和３年４月１日の統計を職員数 102 人で除しています。

Ⅱ　総　務



５．名取市消防本部の沿革

年　月	内　容	備　考
昭和 34. 11	・消防ポンプ自動車 1 台、職員 3 人で消防団常備部開設	閖上地区に分遣所開設
12	・職員 5 人採用（増員）	
35. 7	・職員 2 人採用（増員）	
38. 1	・職員 1 人採用（補充）	
39. 12	・職員 2 人採用（増員）	
40. 11	・国道 4 号線仙台バイパス沿いに消防庁舎完成	旧庁舎
	・消防ポンプ自動車 1 台増車	
12	・職員 2 人採用（増員）	
41. 4	・消防団常備部を廃止し、政令指定を待たず、市独自で消防本部及び消防署設置（消防本部は市役所に置く）	
	・職員 1 人採用（増員）	
42. 12	・消防署に無線局開局	基地局 1、移動局 1
43. 11	・救急自動車配置、救急業務開始	生保協会より寄贈
	・職員 2 人採用（増員）	
44. 4	・消防庁告示、消防本部・消防署設置について政令指定を受ける	
10	・職員 2 人採用（増員）	
	・消防本部を消防庁舎に移転	
46. 3	・消防ポンプ自動車増車	
4	・職員 2 人採用（増員）	
47. 4	・職員 5 人採用（増員）	
11	・化学消防ポンプ自動車配置	
	・指令車配置	
48. 3	・仙台空港事務所、岩沼市、名取市で「仙台空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定」締結	
4	・仙台市外 7 市長等及び塩釜地区消防事務組合管理者と相互応援協定締結	
	・職員 3 人採用（増員）	
12	・ナロー化による救急無線設置	
49. 1	・パトロール車配置	
2	・消防ポンプ自動車増車	
3	・閖上分遣所庁舎完成	
4	・職員 5 人採用（増員 4 人、補充 1 人）	
12	・閖上分遣所を閖上出張所に改組	
50. 4	・手倉田出張所開設	
	・職員 6 人採用（増員）	
12	・水槽付消防ポンプ自動車配置	
51. 7	・広報車配置	日本消防協会より寄贈
53. 4	・職員 3 人採用（増員）（45 人）	
55. 2	・救急自動車増車	生保協会より寄贈
4	・職員 2 人採用（増員）（47 人）	
56. 4	・職員 2 人採用（増員）（49 人）	

年　月	内　容	備　考
昭和57. 4	・職員3人採用（増員）（52人）	
5	・仙台市ガス事業管理者、名取市農業協同組合、名取市消防本部で「ガス災害対策に関する事業協定」締結	
12	・救助工作車配置	
58. 4	・職員4人採用（増員3人、補充1人）（55人）	
59. 2	・救助訓練塔本塔完成	
4	・職員2人採用（増員）（57人）	
60. 4	・職員2人採用（増員）（59人）	
9	・消防庁舎改築に着工	
11	・広報車増車（防火号）	防火協会より寄贈
61. 6	・消防庁舎竣工（訓練塔副塔を含む）	
	・資機材運搬車配置（トラック）	宮城日産より寄贈
8	・消防救急指令装置（Ⅰ型）設置（気象観測装置を含む）	
62. 4	・職員2人採用（補充）	
7	・省令に基づく救助資機材整備	救助隊設置法制化
12	・消防団緊急伝達システム設置	本部、増田、閖上分団
63. 4	・特別救助隊設置（省令第4条）	
7	・県内3市、4広域消防本部で「東北自動車道宮城県消防相互応援協定」締結	
10	・水槽付消防ポンプ自動車増車（Ⅱ型）	
11	・仙台市、仙南地域広域行政事務組合消防本部、名取市で「山形自動車道消防応援協定」締結（宮城県立合）	
	・救急無線に県波増設	
平成 1. 3	・消防団緊急伝達システム子局増設	愛島、高舘分団
4	・職員3人採用（増員2人、補充1人）（61人）	
9	・宮城県医療情報センターと「救急医療情報検索用端末装置の設置に関する協定」締結	
2. 2	・救急自動車更新（2B型）	宮城県共済農業協同組合より寄贈
3	・消防団緊急伝達システム子局増設	下増田、館腰分団
	・査察車増車（軽自動車）	
	・職員定数条例改正（71人）	
4	・職員2人採用（増員）（63人）	
12	・水槽車Ⅱ型（5ｔ）配置	
3. 4	・職員2人採用（補充）	
12	・化学消防ポンプ自動車更新（Ⅱ型）	
4. 2	・応急処置範囲拡大のため教育始まる	
4	・職員4人採用（増員）（実員67人）	
	・宮城県消防学校へ教官として職員1人派遣	
	・宮城県内全消防本部で広域消防相互応援協定、広域航空消防応援協定締結	
5. 2	・救急自動車更新（2B型）	宮城県共済農業協同組合より寄贈

年　月	内　　容	備　　考
平成 5. 4	・職員 3 人採用（増員 2 人、補充 1 人）（69 人）	
11	・機構改革による課制導入（総務警防課、予防課）	
	・26 人乗りマイクロバス増車	㈱宇佐美より寄贈
12	・職員定数条例改正（75 人）	
6. 3	・消防地図検索装置設置	
	・仙台市、仙南地域広域行政事務組合消防本部、名取市で「仙台東部道路及び仙台南部道路消防相互応援協定」締結	
4	・職員 4 人採用（増員 3 人、補充 1 人）（72 人）	
9	・水槽付消防ポンプ自動車増車（Ｉ－Ｂ型）	損保協会より寄贈
	・名取市、岩沼市、仙台市、仙台空港事務所で「仙台空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定」締結	
7. 2	・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ｉ－Ａ型）	
	・手倉田出張所に水槽付消防ポンプ自動車配置	
3	・閖上 7 丁目に閖上出張所新庁舎完成（移転）	閖上出張所新庁舎
	・消防団緊急伝達システム子局増設	
	・宮城県防災ヘリコプター隊員として職員 1 人派遣	
4	・閖上出張所に水槽付消防ポンプ自動車配置	
	・職員 3 人採用（増員 2 人、補充 1 人）（74 人）	
7	・岩沼市と「仙台東部道路消防相互応援協定」締結	
	・緊急消防援助隊登録（消火隊）	
9	・救助工作車、救助資機材更新	
10	・防災車、カーゴトレーラー増車	
8. 2	・消防庁舎に展示室開設	
	・消防波に全国波増波	
	・職員定数条例改正（78 人）	
4	・職員 4 人採用（増員 2 人、補充 2 人）（76 人）	
	・初の救急救命士誕生	
	・名取市消防本部発足 30 周年記念式典開催	
9. 2	・職員定数条例改正（83 人）	
	・消防ポンプ自動車更新（ＣＤ－Ｉ型）	
3	・連絡車増車（ジムニー）	オイルプラントナトリより寄贈
	・飲料水兼用耐震性貯水槽完成（100 ㎥）	
4	・職員 7 人採用（増員 5 人、補充 2 人）（81 人）	
	・資機材搬送車更新	
9	・水槽付消防ポンプ自動車増車（Ｉ－Ａ型）（高舘出張所用）	
10	・救急自動車更新（2Ｂ型）	宮城県共済農業共同組合連合会より寄贈
10. 1		
	・職員定数条例改正（88 人）	
2	・高舘出張所開設、消防団緊急伝達システム子局増設	
4	・職員 4 人採用（増員 2 人、補充 2 人）（83 人）	
	・宮城県消防学校へ教官として職員 1 人派遣	
11. 2	・職員定数条例改正（90 人）	

年　月	内　　容	備　　考
平成 11. 2	・高規格救急自動車配置、高度救命資器材整備	(財)空港環境整備協会より助成
4	・職員 4 人採用（増員 3 人、次年度分補充 1 人）(87 人)	
12	・エアテント整備	
12. 4	・防火衣上下型導入開始	
	・高舘出張所救急自動車配置	
	・職員 4 人採用（増員 1 人、補充 2 人、次年度分補充 1 人）(88 人)	
9	・名取市救急業務運営委員会設置	
13. 1	・高舘出張所救急車更新（2Ｂ型）	
3	・職員定数条例改正（95 人）	
	・宮城県防災ヘリコプター隊員として職員 1 人派遣	
4	・職員 3 人採用（増員 1 人、補充 2 人）(89 人)	
	・県内消防本部で「宮城県内航空消防応援協定」締結	
5	・消防本部緊急通信指令装置等検討委員会設置	
14. 4	・職員 3 人採用（増員 3 人）(92 人)	
8	・消火・通報訓練指導車増車	日本宝くじ協会より寄贈
11	・機構改革	
	・市総務部総務課防災係へ職員 1 人出向	
15. 3	・消防本部通信指令棟竣工	
	・消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）設置	(財)空港環境整備協会より助成
4	・消防本部通信指令室運用開始	
	・名取市消防本部ホームページ運用開始	
	・宮城県消防学校へ教官として職員 1 人派遣	
16. 4	・職員 2 名採用（増員 1 人、補充 1 人）(93 人)	
	・県内消防本部で「宮城県防災ヘリコプターを使用した大規模特殊災害時における広域航空消防応援に関する協定」締結	
11	・煙体験用資機材（煙体験ハウス・煙発生装置）整備	
17. 3	・仙台市、名取市、仙南地域広域行政事務組合で「仙台東部道路及び仙台南部道路消防相互応援協定」締結	
4	・職員 2 人採用（増員 1 人、補充 1 人）(94 人)	
	・株式会社髙橋新蔵商店と「大規模災害時における傷病者の搬送業務に関する協定」締結	
18. 3	・宮城県防災ヘリコプター隊員として職員 1 人派遣	
4	・機構改革により総務警防課から総務課、警防課となる	
	・市総務部防災安全課防災係へ職員 1 人出向	
19. 3	・仙南電友会名取支部と「災害発生における消防活動に関する応援協定」締結	
20. 2	・高規格救急自動車配置、高度救命資器材整備	(財)空港環境整備協会より助成
3	・防火号更新	オイルプラントナトリより寄贈

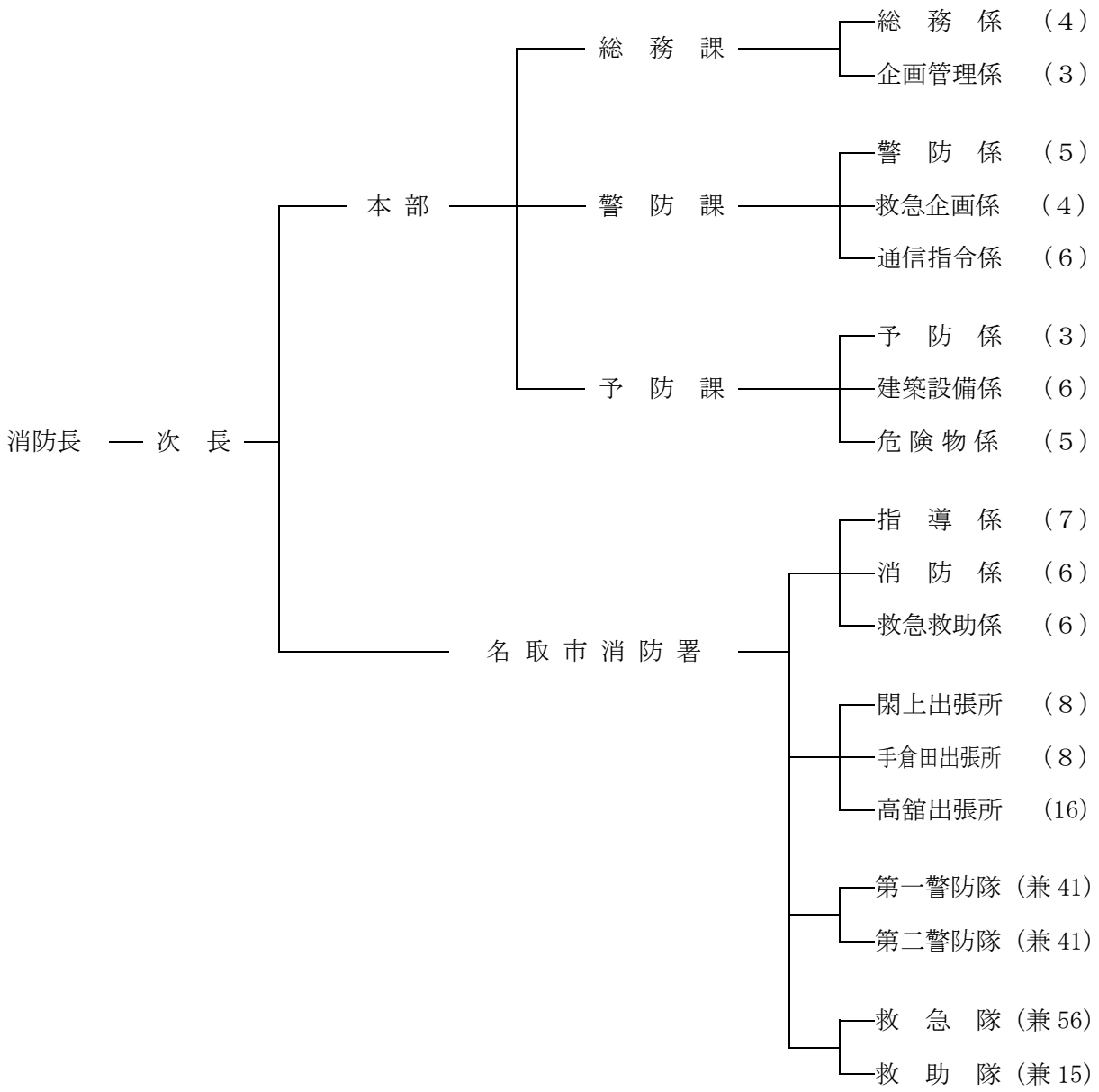
年　月	内　　容	備　　考
平成 20. 4	・職員 2 人採用（増員 2 人）（95 人）	
	・市総務部防災安全課防災係へ職員 1 人出向	
21. 1	・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ｉ－A型）	(財)空港環境整備協会より助成
4	・宮城県消防学校へ教官として職員 1 人派遣	
11	・高規格救急自動車配置、高度救命資器材整備	
12	・鉄道 7 社、県内 11 消防本部で「鉄道災害時における鉄道事業所と消防機関との連携に関する協定」締結	
22. 4	・職員 2 人採用（補充 2 人）（94 人）	
	・市総務部防災安全課防災係へ職員 1 人出向	
23. 3	・3 月 11 日、14 時 46 分三陸沖を震源とするM9.0 の東北地方太平洋沖地震が発生し、管内では震度 6 強を観測 15 時 52 分大津波の襲来により沿岸部は壊滅的な被害を受ける 職員殉職者 3 名 閖上出張所全壊、救助訓練塔本塔傾斜 水槽付消防ポンプ自動車 1 台流失、マイクロバス全壊 活動期間 3 月 11 日から 5 月 16 日、職員延人員 3,061 人 震災対応は、火災 12 件、救急 178 件、救助 93 件 救助人員 457 人、遺体収容 331 体 ・東日本大震災における受援状況 宮城県広域消防相互応援協定に基づき、仙南地域広域行政事務組合消防本部から受援（延日数 23 日、延人員 104 人） 3 月 11 日、消防庁長官の指示により緊急消防援助隊が派遣され富山県隊、広島県隊、長野県隊から受援（延日数 32 日、延人員 5,708 人）	
4	・職員 2 人採用（補充 2 人）（93 人）	
7	・消防職団員殉職者合同慰霊祭を執り行う	
	・3.11 東日本大震災検討委員会設置	
	・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ｉ－A型）（被災車両の復旧）	愛知県名古屋市消防局より寄贈
11	・消防救急デジタル無線及び消防指令センター整備委員会設置	
	・連絡車増車（ステージア）	㈱ネッツトヨタ仙台名取店より寄贈
	・25 人乗りマイクロバス更新（被災車両の復旧）	鹿児島県妙見温泉振興会より寄贈
12	・消防ポンプ自動車更新（ＣＤ－Ｉ型）	神奈川県海老名市消防本部より寄贈
	・高規格救急自動車更新	兵庫県伊丹市消防局より寄贈
	・株式会社潜匠と「災害時応援協定」締結	
24. 2	・査察車更新（軽自動車）	東京都下水道局より寄贈
4	・職員 3 人採用（補充 3 人）（94 人）	

年　月	内　　容	備　　考
平成 24. 4	・市総務部防災安全課防災係へ職員１人出向	
	・東日本大震災消防活動記録保存業務開始	
25. 1	・高規格救急自動車更新、高度救命資機材整備	（一財）空港環境整備協会より助成
3	・消防指令センター設置及び消防救急デジタル無線整備	
	・消防訓練塔（本塔・副塔）竣工	
	・高規格救急自動車更新、高度救命資機材整備	ＪＡ名取岩沼・ＪＡ共済連宮城より寄贈
	・人員搬送車増車	サントリーホールディングス㈱より寄贈
	・査察車増車（軽自動車）	名取つばさライオンズクラブより寄贈
	・東日本大震災消防活動記録誌発行	
	・宮城県防災ヘリコプター隊員として職員１人派遣	
4	・職員３人採用（補充３人）（92 人）	
26. 2	・化学消防ポンプ自動車更新（Ⅱ型）	（一財）空港環境整備協会より助成
4	・職員４人採用（補充４人）（95 人）	
	・市総務部防災安全課防災係へ職員１人出向	
11	・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ｉ－Ａ型）（高舘出張所用）	
27. 2	・救助工作車更新（Ⅱ型）	（一財）空港環境整備協会より助成
4	・職員定数条例改正（101 人）	
	・職員４人採用（補充４人）（94 人）	
9	・水槽付消防ポンプ自動車更新（Ｉ－Ａ型）（閖上出張所用）	
11	・市総務部防災安全課防災係へ職員１人出向	
28. 4	・職員５人採用（増員２人、補充３人）（96 人）	
	・宮城県消防学校へ教官として職員１人派遣	
12	・消防ポンプ自動車ＣＤ－Ｉ型更新（手倉田出張所用）	
29. 4	・職員７人採用（増員２人、補充５人）（98 人）	
30. 1	・高規格救急自動車更新、高度救命資機材整備	
4	・職員５人採用（増員３人、補充２人）（101 人）	
	・市総務部防災安全課防災係へ職員１人出向	
31. 2	・水槽付消防ポンプ自動車更新（水Ⅱ型）	
3	・東日本大震災災害復旧事業完了	
4	・宮城県防災ヘリコプター隊員として職員１人派遣	
	・閖上出張所開所	
令和元. 8	・人員搬送車更新（マイクロバス）	サントリーホールディングス㈱より寄贈
9	・高規格救急自動車更新、高度救命資機材整備	仙台国際空港㈱より助成
2. 3	・消防力適正配置等調査業務実施	
4	・職員定数条例改正　初任教育中の消防職員は定数外となる	

年　月	内　　容	備　　考
令和2. 4	・職員3人採用（補充3人）（101人）	
	・組織機構見直しに伴い１係増設、２係名称変更	
	・救急車4台運用開始	
3. 4	・職員4人採用（増員１人、補充3人）（102人）	
	・市総務部防災安全課防災係へ職員1人出向	

６．消防本部・消防署の機構

（ ）内は職員数（※再任用職員は含まない）、「兼」は兼務職員数　　（令和３年４月１日現在）



７．消防庁舎概要

	所　在　地	敷地面積	延床面積	構　造	竣工年月日
消防本部 消防署	名取市増田五丁目 18 番 32 号	㎡ 4,825.18	㎡ 1,661.25	鉄筋コンクリート 一部鉄骨２階建	S61. 6.10 （東棟 S48.3）
消防本部 通信指令棟	〃	本部敷地内	㎡ 180.55	鉄筋コンクリート 平屋建	H15. 3.14
訓練塔	〃	〃	㎡ 本塔230.30 副塔144.07	鉄骨造　本塔５階建、副塔３階建	H25. 3.29
閖上 出張所	名取市閖上西二丁目 24 番地	㎡ 1,800.00	㎡ 340.63	鉄筋コンクリート ２階建	H31. 3.25
手倉田 出張所	名取市手倉田 字諏訪 559 番地の 2	㎡ 570.98	㎡ 129.60	鉄骨造トタン葺 ２階建	S50. 3.25
高舘 出張所	名取市高舘熊野堂 字五反田山 11 番地の 150	㎡ 1,825.55	㎡ 529.81	鉄筋コンクリート ２階建	H10. 2.26

８．歴代消防長・次長・署長

年月日	消防長	次　長	署　長
昭和　41. 4. 1	七戸　卓 （助役兼務）	（欠　員）	（欠　員）
41. 9. 1			消防司令長 宮崎　英憲
45.10. 1			
45.11. 5	消防司令長 宮崎　英憲	消防司令長 加藤　正雄	宮崎　英憲 （消防長兼務）
46. 4. 1			
48. 1. 1	石川　次夫 （助役兼務）	（欠　員）	消防司令 桑島　源太郎
49. 4. 1	消防監 伊藤　襲次郎		伊藤　襲次郎 （消防長兼務）
51. 5. 1		消防司令長 太田　繁雄	
52. 1. 1			洞口　正人
52.10. 1		（欠　員）	（消防長兼務）
53. 4. 1	消防監 洞口　正人	消防司令長 桑島　源太郎	桑島　源太郎 （次長兼務）
54. 4. 1			洞口　正人 （消防長兼務）
55.11. 1		（欠　員）	消防司令長 伊東　伝治
58. 4. 1	消防監		
61. 4. 1	百足　英夫	消防司令長 斎藤　秀雄	消防司令長 庄司　利雄
62. 4. 1		消防司令長 庄司　利雄	消防司令長 井上　昭
平成　3. 4. 1	消防監 今野　紀夫		
5. 4. 1	消防監 今野　雅夫	消防司令長 五十嵐　敏	五十嵐　敏 （次長兼務）
7. 4. 1	消防監 五十嵐　敏	（欠　員）	消防司令長 加藤　茂男
9. 4. 1	消防監 加藤　茂男	消防司令長 山田　惣一	消防司令長 齋藤　昇吉
11. 4. 1	消防監 齋藤　昇吉	消防司令長 阿部　徳男	
12. 4. 1	消防監 阿部　徳男	（欠　員）	消防司令長 髙橋　清
13. 4. 1			消防司令長 太田　文行
15. 4. 1	消防監 大宮　健	消防司令長 髙橋　清	消防司令長 針生　俊二
16. 4. 1		（欠　員）	
17. 4. 1	消防監 髙橋　清	消防司令長 針生　俊二	消防司令長 今野　新一
18. 4. 1	消防監 針生　俊二	消防司令長 太田　文行	
21. 4. 1	消防監 太田　文行		
22. 4. 1	消防監 今野　三幸	消防司令長 今野　新一	消防司令長 大内　正勝
23. 7. 1	消防監 今野　新一	消防司令長 大内　正勝	大内　正勝 （次長兼務）
25. 4. 1	消防監 板橋　勝典	消防司令長 板橋　武也	板橋　武也 （次長兼務）
27. 4. 1	消防監 太田　昇	消防司令長 大友　敏春	消防司令長 丹野　孝行
28. 4. 1	消防監 大友　敏春	消防司令長 丹野　孝行	丹野　孝行 （次長兼務）
29. 4. 1		消防司令長 今野　義孝	今野　義孝 （次長兼務）
30. 4. 1	消防監 木皿　正之	消防司令長 今野　幸雄	今野　幸雄 （次長兼務）
令和　2. 4. 1 現在	消防監 髙橋　隆一	消防司令長 阿部　和幸	阿部　和幸 （次長兼務）

９．消防費予算額・決算額の状況

区　　分		３年度当初予算額（千円）	２年度当初予算額（千円）	対　前　年　比	
				金額（千円）	割合（%）
一般会計総額		31,389,000	31,695,000	△　306,000	99.0
消　防　費		1,135,004	1,155,464	△　20,460	98.2
構　成　比		3.6%	3.6%	－	－
内訳	常備消防費	937,768	892,068	45,700	105.1
	非常備消防費	65,052	71,258	△　6,206	91.3
	消防施設費	81,073	63,720	17,353	127.2
	防　災　費	49,128	126,705	△　77,577	38.8
	水　防　費	1,983	1,713	270	115.8

※　歳出決算額（２年度は見込額）

（単位：千円）

年度	決　算　額	内訳					災害復旧費決算額(消防本部所管分)
		常備消防費	非常備消防費	消防施設費	防　災　費	水　防　費	
２２	936,144	821,997	58,831	41,643	12,628	1,045	
２３	1,517,358	917,820	542,394	49,797	6,541	806	37,647
２４	983,353	817,766	65,944	86,750	12,073	820	927,846
２５	1,060,207	794,451	52,092	108,106	104,740	818	1,665
２６	1,192,510	841,399	50,743	233,727	65,215	1,426	29,494
２７	1,189,745	833,692	55,952	66,707	232,174	1,220	92,080
２８	1,166,653	852,259	54,010	131,459	128,115	810	25,276
２９	1,026,539	852,486	52,170	107,029	13,988	866	14,993
３０	1,100,151	821,624	52,160	195,060	29,422	1,885	403,426
元	1,068,860	852,011	75,081	107,622	31,112	3,034	1,080
２	1,169,249	879,609	59,204	71,029	158,809	598	

10. 消防職員数及び配置状況

（令和３年４月１日現在）

区分		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	備考
消防本部	消防長	1	1								
	総務課	13		1	3	4			4	1	県消防学校初任科４人
	警防課	17		1	4	8	1	3			
	予防課	16		1	4	7	1		3		
消防署	本署	22		1	5	6		2	8		
	閖上出張所	8			1	4		1	2		
	手倉田出張所	8			1	3			4		
	高舘出張所	16			1	5	2	2	6		
出向		1					1				県防災ヘリコプター
小計		102	1	4	19	37	5	8	27	1	条例定数101人 （初任科４名は定数外）
再任用職員		2								2	
合計		104								3	

11. 消防職員技術資格取得状況

（令和３年４月１日現在）

資格名	保有職員数	資格名	保有職員数
自動車運転免許（大型）	７８	毒物劇物取扱責任者	５
自動車運転免許（中型）	４	小型移動式クレーン運転技能者	３３
自動車運転免許（準中型）	１１	玉掛技能者	３３
自動車運転免許（普通）	９	ガス溶接技士	６
小型船舶操縦士	２２	特定化学物質作業主任者	４
特殊無線技士	７８	予防技術検定資格者	１５
危険物取扱者免状（甲種）	４	アマチュア無線技士	４
危険物取扱者免状（乙種）	６９	自動車整備士	２
危険物取扱者免状（丙種）	１２	防災士	６
消防設備士（甲種）	３	火薬類取扱保安責任者	１
消防設備士（乙種）	８	電気工事士	１
衛生管理者	３	被災建築物応急危険度判定士	３
救急救命士	２４	潜水士	２

※　再任用職員は含まない。

12. 階級別年齢別職員数

（令和3年4月1日現在　単位:人）

区　分	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	備　考
合　計	102	1	4	19	37	5	8	27	1	定数101人
満18歳										
19	4							4		
20										
21	4							4		
22	4							4		
23	2							2		
24	2							2		
25	5							5		
26	4						2	2		
27	5						1	4		
28	3						3			
29	1						1			
30	1					1				
31	2					1	1			
32	1								1	
33										
34										
35	2					2				
36	1					1				
37	2				2					
38										
39	6				6					
40	1				1					
41	1				1					
42	5				5					
43	4				4					
44	6				6					
45										
46	4				4					
47	4				4					
48	5			2	3					
49	3			3						
50	2			2						
51										
52	1			1						
53	1				1					
54	2			2						
55	3			3						
56	4			4						
57	2		2							
58	2		1	1						
59	3	1	1	1						
60										
61										
平均年齢	38.7	59.0	57.8	53.1	43.4	33.4	27.9	23.2	32.0	

※　再任用職員は含まない。

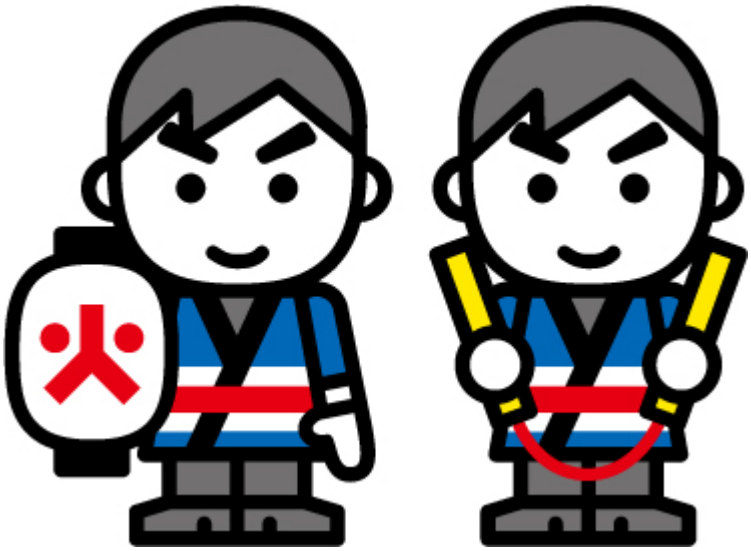
13. 階級別勤続年数別職員数

（令和3年4月1日現在　単位：人）

区　分	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	備　考
合　計	102	1	4	19	37	5	8	27	1	定数101人
1年未満	5							4	1	
1年～	3							3		
2										
3	5							5		
4	6						1	5		
5	4							4		
6	4						2	2		
7	4							4		
8	3					1	2			
9	2					1	1			
10	1						1			
11	1						1			
12										
13	2					2				
14										
15										
16	2				1	1				
17	2				2					
18										
19	3				3					
20	3				3					
21	4				4					
22	3				3					
23	1				1					
24	6				6					
25	4			1	3					
26	3			1	2					
27	4				4					
28	2				2					
29	3			1	2					
30	2			1	1					
31	1			1						
32	3			3						
33										
34	2			2						
35										
36	2			2						
37	2			2						
38	5		1	4						
39	2	1	1							
40	2		1	1						
41	1		1							
42										
43										
44										
平均勤続年数	18.9	39.0	39.5	33.8	23.3	11.8	7.8	3.8	1.0	

※　再任用職員は含まない。

Ⅲ　　消 防 団



14. 名取市消防団の沿革

年　月	内　容	備　考
明治 27. 5	・増田町消防組（公設）設置	
9	・館腰村消防組（公設）設置	
11	・愛島村消防組（公設）設置	
30. 4	・東多賀村消防組（公設）設置	後の閖上町
大正 13.	・下増田村消防組（公設）設置	
	・吉田消防組（私設）を高舘村消防組（公設）へ移管	
昭和 3. 4	・増田町消防組、自動車ポンプ配置	
14. 4	・各町村消防組、警防団に改組	
22. 8	・各町村警防団、消防団に改組	総員 766 人
30. 4	・町村合併により名取町消防団発足	
31.	・宮城県消防協会長より竿頭綬を受賞	
32.	・宮城県知事より竿頭綬を受賞	
2	・日本消防協会長より表彰旗を受賞	
33. 3	・国家消防本部長より竿頭綬を受賞	現在の消防庁長官
9	・第 1 回宮城県消防操法大会出場	ポンプ車操法第 2 位入賞
11	・市制施行により名取市消防団発足	
34. 8	・第 2 回宮城県消防操法大会出場	ホース巻きの部優勝
10	・消防団常備部設置（ポンプ車 1 台、職員 3 人）	団員 530 人
36. 9	・第 4 回宮城県消防操法大会出場	
40. 11	・消防庁舎完成	
41. 4	・消防団常備部廃止、消防本部・消防署設置	団員 480 人、増田分団、閖上分団に自動車部
42. 8	・第 10 回宮城県消防操法大会出場	
45. 11	・宮城県知事より表彰旗を受賞	
48. 8	・第 16 回宮城県消防操法大会出場	
53. 6	・宮城県沖地震	マグニチュード 7.4
56. 2	・日本消防協会長より竿頭綬を受賞	
57. 5	・宮城県消防協会長より表彰旗を受賞	
7	・第 25 回宮城県消防操法大会出場	
58. 5	・増田分団自動車部を廃止し、館腰分団にポンプ車を配置	各分団の定数変更
	・団本部付部長（ラッパ隊長）を新設	
61. 3	・消防庁長官より表彰旗を受賞	消防本部と連名
6	・新消防庁舎完成	消防団室設置
8	・台風 10 号による集中豪雨（降水量 436㎜、り災 326 世帯 1,134 人、床上浸水 310 棟、床下浸水 1,410 棟、実施水防工法 10 箇所、消防団出動人員延 524 人）	
62. 10	・消防無線受令機を各分団長に配置	
12	・消防団緊急伝達システム親局（消防本部）及び子局設置	増田・閖上分団
平成 1. 3	・消防団緊急伝達システム子局設置	愛島・高舘分団
11	・小型動力ポンプ積載車新規導入（以降順次整備）	
2. 3	・消防団緊急伝達システム子局設置	下増田・館腰分団

年　月	内　　容	備　　考
平成 2. 6	・消防ポンプ自動車更新	ＣＤ－Ｉ型、閑上分団
8	・第 33 回宮城県消防操法大会出場	総合第 4 位
3. 3	・ポンプ置場改築分より団員詰所の公設始まる	
4	・高舘分団第 2 部に 2 台配置されていたポンプの 1 台を廃止し 4 人の班長を 2 人に削減、団本部付副分団長を新設	各分団の定数変更
5. 3	・消防無線受令機を分団長除く部長以上の幹部に配置	
6. 4	・団本部付分団長導入	
6	・婦人消防団員 10 人を任命	夏・冬制服を貸与
8	・消防団旗更新	
9	・9.22 集中豪雨（降水量 328㎜、罹災 2,908 世帯 9,702 人 床上浸水 946 棟、床下浸水 1,736 棟、実施水防工法 17 箇所 消防団出動人員延 846 人）	
10	・第 10 回全国婦人消防操法大会出場	総合第 7 位
7. 6	・団本部指揮車配置	日本消防協会より寄贈
8. 2	・婦人消防団員を本部付けとする	各分団定数変更
9.10	・ラッパ 5 台の寄贈受ける	
10. 3	・夏作業服、アポロキャップを全団員へ貸与	旧略帽を廃止
11. 8	・消防団活性化計画等検討委員会設置（委員 11 人）	12 年 3 月検討結果報告書提出
12. 2	・女性消防団員を広報により公募	12 年 5 月 9 人を任命
3	・簡易救助資機材各部に配置完了	
6	・部長以上にポケットベル配置	
7	・第 41 回宮城県消防操法大会出場	
13. 3	・小型動力ポンプを配置した 35 部すべてに小型動力ポンプ積載車配置完了	
4	・女性消防団員から女性消防隊に名称を改め隊員を増員	各分団定数変更
	・名取市消防団活性化計画策定	
5	・名取川・阿武隈川下流水防演習実施	国土交通省主催
8	・消防団行事訓練検討委員会設置	
9	・女性消防隊員応急手当普及員資格習得	
14. 3	・班長にポケットベル配置	
	・消防団車庫詰所を全地区へ整備完了	
15. 3	・団本部査察広報車配置	日本消防協会より寄贈
17. 1	・幹部会申し合わせ事項策定	定年制等
2	・班長以上に緊急災害情報メール配信開始	ポケットベル廃止
	・名取市消防本部ホームページに地区分団紹介を掲載	
19. 4	・名取市消防団事業企画運営部会設置（部員 18 人）	
8	・女性消防隊旗を整備	
	・女性消防隊夏・冬制服一式を更新	
20.12	・新基準活動服・編上靴を全団員に貸与	
21. 1	・名取市消防団協力事業所表示制度実施	
22. 6	・消防団緊急伝達システム廃止（アナログ方式）	災害伝達方法は防災行政無線に移行

年　月	内　　容	備　　考
平成 22. 10	・救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車配置	消防庁より無償貸与
23. 3	・3 月 11 日、14 時 46 分三陸沖を震源とするM9. 0 の東北地方太平洋沖地震が発生し、管内では震度 6 強を観測 15 時 52 分大津波の襲来により閖上分団、下増田分団は壊滅的な被害を受ける 消防団員殉職者 16 名 消防団施設 6 棟流失、小型動力ポンプ積載車 7 台全損 捜索活動延日数 14 日間、延人員 1, 576 人	
7	・消防職団員殉職者合同慰霊祭を執り行う	
24. 3	・救助資機材搭載型小型動力ポンプ付積載車に更新開始	
	・小型動力ポンプ付積載車 2 台更新	サントリー㈱より寄贈
11	・平成 22 年 10 月消防庁より無償貸与を受けた車両が東日本大震災の津波被害により全損した為に再貸与を受ける	消防庁より再貸与
25. 3	・消防無線のデジタル化に伴い消防団積載車全車両にデジタル無線機を配置 ・携帯型デジタル簡易無線機(トランシーバー型)を幹部団員及び各部に 2 台配置 ・消防無線のデジタル化に伴い消防団緊急伝達システムを再設置	
12	・「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」施行	
26. 2	・携帯型デジタル無線機を幹部団員へ配置	サントリー㈱より寄贈
3	・小型動力ポンプ付積載車１台更新	サントリー㈱より寄贈
	・救命胴衣を各分団へ貸与	消防団員公務災害補償等共済基金より寄贈
4	・出動手当の見直しを実施	
5	・名取川・阿武隈川下流総合水防演習	国土交通省主催
27. 3	・小型動力ポンプ付積載車 2 台更新	サントリー㈱より寄贈
4	・携帯型デジタル無線機を副分団長以上幹部全員へ配置 ・ラッパ隊制服を更新	
28. 1	・防寒服、耐切創性手袋を全団員へ貸与	女性消防隊員除く
2	・小型動力ポンプ付積載車１台更新	
	・救命胴衣を全団員へ貸与	女性消防隊員除く
	・拡声器を分団各部へ配置	
3	・小型動力ポンプ付積載車１台更新（救助資機材搭載型）	サントリー㈱より寄贈
7	・第 49 回宮城県消防操法大会出場	総合 8 位
10	・救助用半長靴を全団員へ貸与	
	・防塵メガネ、防塵マスクを全団員へ貸与	女性消防隊員除く
29. 3	・小型動力ポンプ付積載車１台更新	サントリー㈱より寄贈
4	・団員資格に「(本市に) 勤務し、又は通学する者」を追加	条例改正
10	・保護帽を全団員へ貸与	
	・避難誘導棒を分団各部へ配置	
11	・学生消防団員１人を任命	

年　月	内　　容	備　　考
平成 29. 12	・東日本大震災に伴い、閖上分団の再編に係る各分団の定員見直し	各分団定員変更
30. 1	・幹部会申し合わせ事項改正	定年制等整理
2	・名取市学生消防団活動認証制度実施要綱施行	
	・小型動力ポンプ付積載車１台更新	
3	・日本消防協会長より表彰旗を受章	
	・小型動力ポンプ付積載車１台更新	サントリー㈱より寄贈
5	・第 13 回東北水防技術競技大会出場	
12	・消防団活動車更新	（公財）日本消防協会より寄贈
31. 2	・小型動力ポンプ付積載車２台更新	
	・小型動力ポンプ付積載車２台災害復旧（救助資機材搭載型１台）	
令和 元. 7	・消防団安全管理マニュアル制定	
2. 3	・小型動力ポンプ付積載車２台更新（救助資機材搭載型１台）	
	・トランシーバーを団本部へ配置	
	・油圧切断機及びジャッキを各分団へ配置	
7	・名取市消防団災害対応基本計画策定	
10	・各水防倉庫へチェーンソー及び照明器具を配置	
	・全ての部へ照明器具の配置を完了	
3. 2	・小型動力ポンプ付積載車２台更新	

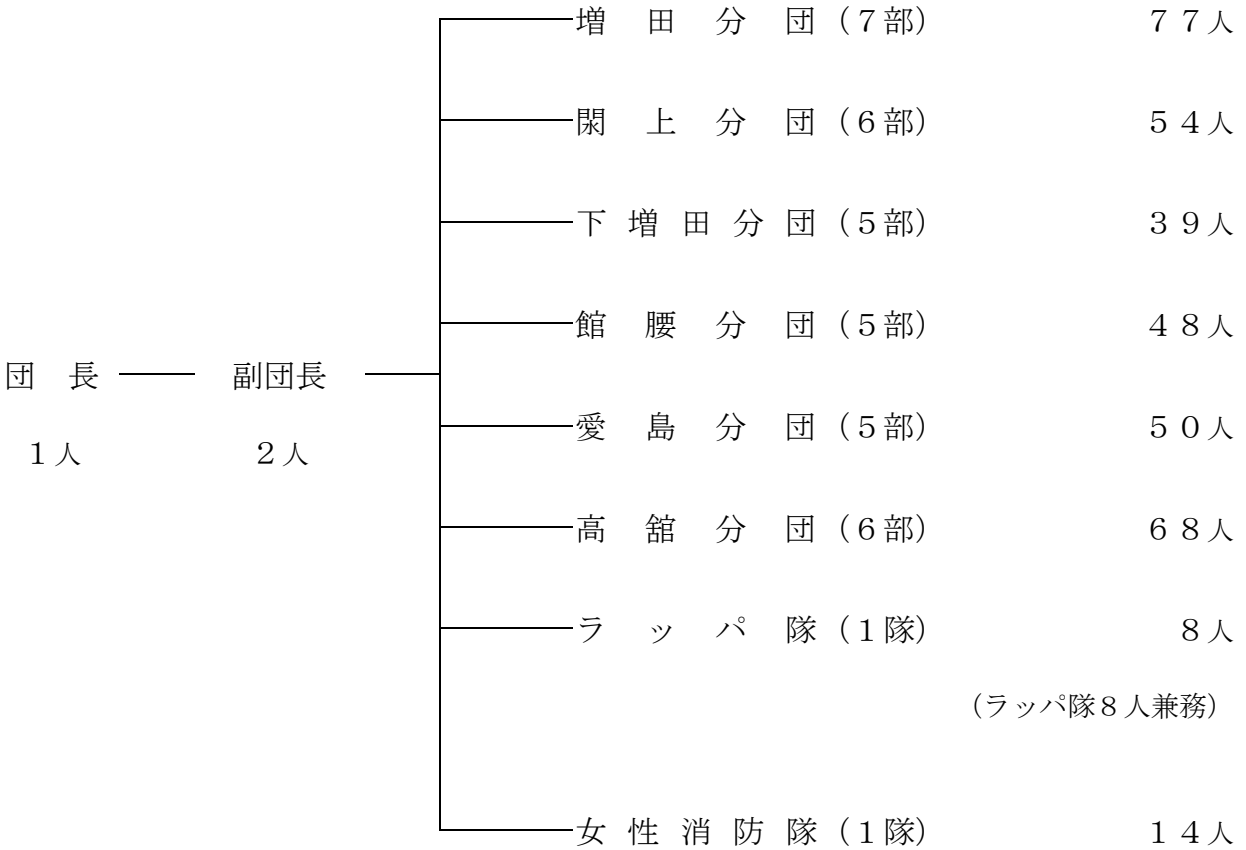
15. 消防団主要行事

（令和２年４月１日～令和３年３月31日）

月　日	行　事　名	内　　容	開催場所
中止	水　防　訓　練	出水期を迎え水防技術を確認し水防体制に万全を期す 主催は阿武隈川下流左岸水害予防組合	
中止	消　防　操　法 伝　達　講　習　会	操法指導会に向けて講習会を実施する	
中止	名　取　市　消　防 操　法　指　導　会	消防操法の円滑化及び技術の向上を図る	
中止	なとり夏まつり 特　別　警　戒	なとり夏まつりに伴い、観客等の事故防止を図る	
10.3 4	消防団現地教育	初任消防団員に対し、訓練を通じて必要な教養と知識の習得を図る（17人参加） 主催は宮城県消防学校	増　田　体　育　館
10.25	新規配備資機材 取　扱　説　明 及　び　訓　練	新規配備の資機材の説明と取扱訓練を実施する （112人参加）	名　取　市　消　防　本　部
11.7	名　取　市　総　合 防　災　訓　練	名取市主催の総合防災訓練 消防団本部設置指揮訓練、避難広報及び避難所設置訓練を実施する（60人参加）	閖　上　小　中　学　校 閖　上　公　民　館
11.9 ～ 15 3.1 ～ 7	秋　季　・　春　季 火　災　予　防　運　動	防火広報を実施し、住民の防火意識高揚を図る	市　内　各　地　区
中止	班　長　以　上 幹　部　訓　練　及　び ラ　ッ　パ　隊　訓　練	幹部に対し部隊行動の指揮能力向上とラッパ隊の吹奏訓練を実施する 主催は宮城県消防協会名取地区支部	
中止	連　合　演　習	諸制式の習熟を図り、部隊行動を軽快にし、消防諸般の基礎を作る 主催は宮城県消防協会名取地区支部	
1.10	名　取　市　消　防 出　　初　　式	年頭にあたり、市内消防機関が一堂に会し、防火・防災への決意を新たにする（173人参加）	名取市民体育館前広場
中止	消防団班長以上 幹　部　研　修　会	消防団員として意識の向上や知識の習得を目的とした研修を実施する	

16. 消防団の機構及び人員

（令和３年４月１日現在）



合　　計　　３５３人

17. 歴代消防団長・副団長

年　月　日	団　　長	副　団　長	
昭和30. 4. 1	日地谷　栄　一	渡　辺　六之助	齋　　政　治
34. 4. 1			川　島　芳　男
38. 4. 1	川　島　芳　男		相　沢　春　吉
40. 7. 3		(欠　員)	
40. 8. 1		高　橋　捨　蔵	
42. 4. 1			小　林　兵　吉
46. 1. 18		(欠　員)	
46. 4. 1		伊　深　喜代治	星　　直　志
50. 4. 1	伊　深　喜代治	遠　藤　忠　児	
54. 4. 1	星　　直　志	立　花　　寛	庄　司　　勇
56. 8. 21		(欠　員)	
56. 10. 1		相　沢　秀　夫	
60. 10. 1		今　野　治　郎	
62. 4. 1	今　野　治　郎	武　田　忠　男	庄　子　　昭
平成 3. 4. 1		高　橋　愼次郎	
7. 4. 1	庄　子　　昭	大　友　　章	今　野　栄　次
9. 4. 1	大　友　　章	針　生　幸　作	
11. 4. 1			佐　伯　勇　治
13. 4. 1	針　生　幸　作	高　橋　清太郎	
15. 4. 1			庄　子　彰　悦
17. 4. 1	今　野　市　郎	丹　野　善　雄	昆布谷　清太郎
21. 4. 1	昆布谷　清太郎	猪　股　富　男	松　浦　岩　男
25. 4. 1	猪　股　富　男	松　浦　岩　男	根　元　勝　治
27. 4. 1	松　浦　岩　男	根　元　勝　治	松　浦　泰　信
31. 4. 1	松　浦　泰　信		斎　藤　　巖
現在			

18. 階級別年齢別団員数

（令和3年4月1日現在　単位：人）

区　　分	合 計	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
合　　計	353	1	2	6	6	35	69	234
満18歳								
19								
20								
21								
22								
23	1							1
24	1							1
25								
26								
27	2							2
28	3							3
29	1							1
30	4							4
31	2							2
32	4							4
33	5							5
34	7							7
35	6							6
36	10							10
37	7							7
38	7							7
39	20						5	15
40	10						1	9
41	18						2	16
42	16						3	13
43	18						3	15
44	21					1	4	16
45	18					1	5	12
46	20					1	8	11
47	14			1		2	4	7
48	21					3	6	12
49	11			1		1	1	8
50	12					1	5	6
51	15				1	3	7	4
52	5					1	2	2
53	9				1	2	3	3
54	4						1	3
55	8					4	2	2
56	7			1		1	1	4
57	11			1	1	5	1	3
58	5					2	2	1
59	7		1	1		4		1
60	3				1			2
61	2				1		1	
62	2					1		1
63	2							2
64	7		1		1	1	2	2
65	2	1						1
66	1			1				
67	1							1
68	1							1
69	1							1
70	1					1		
71								
平均年齢	45.9	65.0	61.5	55.7	57.7	54.1	48.1	42.9

19. 階級別勤続年数別団員数

（令和3年4月1日現在　単位：人）

区　　分	合 計	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
合　　計	353	1	2	6	6	35	69	234
1年未満	8							8
1年～	17						1	16
2	8							8
3	27						1	26
4	17							17
5	9							9
6	19						1	18
7	14						3	11
8	19					1		18
9	13					1	1	11
10	13						2	11
11	18						5	13
12	21					1	6	14
13	13						4	9
14	14					2	5	7
15	9					1	4	4
16	14					2	6	6
17	12					2	6	4
18	11					2	6	3
19	15					4	4	7
20	6					3	2	1
21	9					1	4	4
22	9				1	5	2	1
23	3			1	1		1	
24	7				1		3	3
25	2							2
26	6			1	1	3	1	
27	2					2		
28	4		1			1	1	1
29								
30	3			2		1		
31	3			1	1	1		
32	2				1			1
33								
34								
35	1					1		
36	2			1		1		
37	2		1					1
38								
39								
40								
41								
42								
43								
44	1	1						
45								
46								
47								
48								
49								
50								
平均勤続年数	12.2	44.0	32.5	29.3	26.3	20.9	15.5	8.8

20. 消防団員数及び配置状況

（令和３年４月１日現在　単位：人）

区　分		合　計	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班　長	団　員
合　計	定　員	480	1	2	6	6	35	70	360
	実　員	353	1	2	6	6	35	69	234
団本部	定　員	40	1	2			1	2	34
	実　員	17	1	2			1	1	12
	うち女性消防隊	14					1	1	12
	うち学生団員								
増田分団	定　員	92			1	1	7	14	69
	実　員	77			1	1	7	14	54
閖上分団	定　員	79			1	1	6	12	59
	実　員	54			1	1	6	12	34
下増田分団	定　員	62			1	1	5	10	45
	実　員	39			1	1	5	10	22
館腰分団	定　員	65			1	1	5	10	48
	実　員	48			1	1	5	10	31
愛島分団	定　員	66			1	1	5	10	49
	実　員	50			1	1	5	10	33
高舘分団	定　員	76			1	1	6	12	56
	実　員	68			1	1	6	12	48

21. 職業別団員数

（令和３年４月１日現在　単位：人）

計	職業構成					就業形態				
	公務員			日本郵政グループ	その他	被用者	自営業者	家族従業者	その他	うち学生
	国家公務員	地方公務員	特殊法人等公務員に準ずる職員							
353	1	8	11	3	330	263	76	6	8	0

22. 分団別消防機械器具配置状況

（令和３年４月１日現在）

分団名 / 消防機械器具	合計	本部	増田	閖上	下増田	館腰	愛島	高舘
小型動力ポンプ付積載車	35	1	7	6	5	5	5	6
うち救助資機材搭載型	6		1	1	1	1	1	1
背負い式消火水のう	112	3	14	12	17	10	25	31
拡声器	35	1	7	6	5	5	5	6
簡易救助資機材（折込のこぎり・平バール・万能斧・大ハンマー・ジャッキ・ボルトカッター・ヘッドランプ・資機材収納バック）	35	1	7	6	5	5	5	6
油圧切断機	34		7	6	5	5	5	6
投光機一式（発電機・サーチライト・三脚・コードリール）	34		7	6	5	5	5	6
トランシーバー	83	83						

23. 分団別消防用ホース配置状況

（令和３年４月１日現在 単位:本）

分団名 / 部別	本部	増田	閖上	下増田	館腰	愛島	高舘
合計	8	133	120	101	94	98	117
第１部		18	19	19	19	21	18
第２部		22	18	22	20	20	20
第３部		16	19	21	19	18	20
第４部		19	25	19	19	19	20
第５部		18	19	20	17	20	19
第６部		21	20				20
第７部		19					
予備車	8						

【総計　671本】

24. 消防団施設一覧

（令和３年４月１日現在）

所属		小型動力ポンプ付積載車車庫		火の見櫓	サイレン
分団	部	所在地	建築年月	ホース乾燥塔	
増田	1	名取市増田一丁目 745	H. 13. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 2.11	
	2	名取市増田四丁目 4-21 （詰所併設）	H. 6.12	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 6.12	
	3	名取市手倉田字諏訪 559-2 （詰所併設）	S. 60. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.18.11	◎
	4	名取市田高字神明 187-1	H. 3.11	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.27.12	◎
	5	名取市上余田字千刈田 8 （詰所併設）	H. 11. 3	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.24.11	◎
	6	名取市下余田字飯塚 502-1	H. 10. 2	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.10. 2	◎
	7	名取市杜せきのした一丁目 8-11	H. 22. 7	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.22. 7	
閖上	1	名取市高柳字圭田 250-3 （詰所併設）	H. 12. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.12. 3	
	2	名取市大曲字中小路 29 （詰所併設）	H. 11. 2	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.11. 2	
	3	名取市牛野字内海 235-4 （詰所併設）	H. 4. 3	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.25.12	◎
	4	名取市小塚原字西中塚 359-3 （詰所併設）	H. 28. 5	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.28. 5	◎
	5	名取市閖上西一丁目 15-1、15-2 （詰所併設）	H. 31. 3	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.31. 3	◎
	6	名取市閖上中央二丁目 21-1 （詰所併設）	H. 31. 2	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.31. 2	◎
下増田	1	名取市下増田字前田 50	H.24.10	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.24. 3	◎
	2	名取市美田園五丁目 7-2、7-3、7-4 （詰所併設）	H. 29. 3	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.29. 3	◎
	3	名取市下増田字土手西 15 （詰所併設）	H. 10. 2	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.10. 2	
	4	名取市杉ヶ袋字尻田村 9-3	H.26.11	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.26.11	◎
	5	名取市美田園北 9-11	H. 29. 3	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.29. 3	◎
館腰	1	名取市飯野坂四丁目 390-4 （詰所併設）	H. 9. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 9. 3	◎
	2	名取市植松一丁目 254-1 （詰所併設）	H. 13. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.13. 3	◎
	3	名取市植松四丁目 7 （詰所併設）	H. 27. 2	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.27. 2	◎
	4	名取市本郷字矢口 44	H. 7. 3	鉄骨 3 脚 S.62. 3	◎
	5	名取市堀内字鶴 1-1	H. 6. 3	鋼製ﾎﾟｰﾙ H.28.12	◎
愛島	1	名取市愛島北目字竹の内 92-1	H. 4.10	鉄骨 3 脚 S.56.10	
	2	名取市愛島笠島字東蔵神 37-1 （詰所併設）	H. 9. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 9. 3	◎
	3	名取市愛島笠島字鳥井崎 60-1 （詰所併設）	H. 6. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ S.62. 3	
	4	名取市愛島小豆島字宇賀崎 332 （詰所併設）	H. 12. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.12. 3	
	5	名取市愛島塩手字野田山 11-1	H. 8. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 8. 3	
高舘	1	名取市高舘吉田字宮神明 212-1	H. 12. 1	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.11.11	◎
	2	名取市高舘吉田字長六反 124-1 （詰所併設）	H. 8. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H. 8. 3	◎
	3	名取市高舘川上字五性寺 52 （詰所併設）	H. 4.10	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ S.58. 3	◎
	4	名取市高舘川上字台 52-1	H. 9. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ 不明	
	5	名取市高舘熊野堂字土手下 195 （詰所併設）	H. 14. 3	ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟｰﾙ H.14. 3	◎
	6	名取市高舘熊野堂字余方上西 15-2	H. 2.11	鋼製ﾎﾟｰﾙ R. 1. 8	

25. 消防団車両配置状況

（令和３年４月１日現在）

区　　分	車　両　名	年式	車両メーカー	排気量ｃｃ	ポンプ級別
本　　部	指　揮　広　報　車	Ｈ１５	ニ　ッ　サ　ン	１，７６０	
本　　部	消　防　団　活　動　車	Ｈ３０	ミ　ツ　ビ　シ	２，３５０	
本部予備車	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１３	ダ　イ　ハ　ツ	６５０	Ｂ－３
増　田　１　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１３	ダ　イ　ハ　ツ	６５０	Ｂ－３
増　田　２　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２９	ダ　イ　ハ　ツ	６５０	Ｂ－３
増　田　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１３	ダ　イ　ハ　ツ	６５０	Ｂ－３
増　田　４　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ３０	ニ　ッ　サ　ン	１，９９０	Ｂ－３
増　田　５　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１１	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
増　田　６　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｒ　３	ト　　ヨ　　タ	２，９８０	Ｂ－３
増　田　７　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｒ　２	ト　　ヨ　　タ	２，９８０	Ｂ－３
閖　上　１　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１２	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
閖　上　２　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１１	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
閖　上　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ３１	ニ　ッ　サ　ン	１，９９０	Ｂ－３
閖　上　４　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２４	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
閖　上　５　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ３１	ニ　ッ　サ　ン	１，９９０	Ｂ－３
閖　上　６　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ３１	ニ　ッ　サ　ン	１，９９０	Ｂ－３
下増田１部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１１	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
下増田２部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２９	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
下増田３部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１０	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
下増田４部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２４	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
下増田５部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２８	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
館　腰　１　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｒ　３	ト　　ヨ　　タ	２，９８０	Ｂ－３
館　腰　２　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１３	ト　　ヨ　　タ	１，９８０	Ｂ－３
館　腰　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２４	ニ　ッ　サ　ン	２，９５０	Ｂ－２
館　腰　４　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２７	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
館　腰　５　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２７	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
愛　島　１　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｒ　２	ト　　ヨ　　タ	２，９８０	Ｂ－３
愛　島　２　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２５	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
愛　島　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２６	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
愛　島　４　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１２	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
愛　島　５　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２８	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　１　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ１２	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　２　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ３０	ニ　ッ　サ　ン	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　３　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２６	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　４　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ３１	ニ　ッ　サ　ン	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　５　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２２	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３
高　舘　６　部	小型動力ポンプ付積載車	Ｈ２４	ト　　ヨ　　タ	１，９９０	Ｂ－３

26. 消防団員出動状況

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

区　分	火　　災		救助活動		風水害等の災害		演習・訓練等	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防団員	1	17	0	0	2	52	14	276
構成比(%)	0.2	0.8	0.0	0.0	0.4	2.4	2.9	12.5

区　分	広報・指導		研修・教育		特別警戒		捜　　索	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防団員	12	18	5	81	450	1,400	0	0
構成比(%)	2.5	0.8	1.0	3.7	91.8	63.7	0.0	0.0

区　分	予防査察 （災害弱者宅防火訪問）		そ の 他 （式典等含む）		計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防団員	2	11	4	344	490	2,199
構成比(%)	0.4	0.5	0.8	15.6	100.0	100.0

27. 消防団員火災出動状況

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

出動 月別	件　　数	放水台数	延べ人員	火災発生件数
1月				1
2月				
3月	1	1	17	2
4月				2
5月				
6月				3
7月				3
8月				1
9月				2
10月				
11月				2
12月				2
計	1	1	17	18

Ⅳ　　予　　防

28. 防火対象物及び立入検査実施状況

（令和2年4月1日～令和3年3月31日　単位：件）

区分			防火対象物数	立入検査実施状況	指導勧告数（延事業所数）
合計			2,202	312	109
1項	イ	劇場・映画館等	3	1	1
	ロ	公会堂・集会場等	56	10	5
2項	イ	ｷｬﾊﾞﾚｰ・ﾅｲﾄｸﾗﾌﾞ等			
	ロ	遊技場・ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ等	12	2	
	ハ	性風俗関連店舗			
	ニ	カラオケボックス等	3		
3項	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店	71	4	6
4項		百貨店・ﾏｰｹｯﾄ等	144	26	23
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	41	4	3
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	430	9	2
6項	イ	病院・診療所・助産所	59	11	2
	ロ	福祉施設等	43	14	3
	ハ	福祉施設等（通所施設）	50	19	7
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	15	5	1
7項		小学校・中学校等	91	54	11
8項		図書館・美術館等	3	1	
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1		
	ロ	（イ）以外の公衆浴場			
10項		停車場・発着場	3		
11項		神社・寺院・教会等	44		
12項	イ	工場・作業場等	286	24	2
	ロ	映画ｽﾀｼﾞｵ・ﾃﾚﾋﾞｽﾀｼﾞｵ			
13項	イ	自動車車庫・駐車場	37	7	
	ロ	飛行機・ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰの格納庫			
14項		倉庫	212	16	1
15項		前各項以外の事業場	336	40	9
16項	イ	複合用途（特定）	179	52	26
	ロ	複合用途（その他）	76	11	7
16項の2		地下街			
16項の3		準地下街			
17項		重要文化財・美術品等	7	2	
18項		延長50m以上のアーケード			
19項		市町村長の指定する山林			
20項		総務省令で定める舟車			

29. 建築確認申請状況

（令和2年4月1日～令和3年3月31日　単位：件）

区分			合計	新築	増築	改築	用途変更	その他
合計			112	74	35		1	2
1項	イ	劇場・映画館等						
	ロ	公会堂・集会場等	2	1	1			
2項	イ	ｷｬﾊﾞﾚｰ・ﾅｲﾄｸﾗﾌﾞ等						
	ロ	遊技場・ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ等						
	ハ	性風俗関連店舗						
	ニ	カラオケボックス等						
3項	イ	待合・料理店等						
	ロ	飲食店						
4項		百貨店・ﾏｰｹｯﾄ等	8	6	1		1	
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1	1				
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	7	7				
6項	イ	病院・診療所・助産所	4	4				
	ロ	福祉施設等	3	2	1			
	ハ	福祉施設等（通所施設）	1		1			
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	1		1			
7項		小学校・中学校等	4		4			
8項		図書館・美術館等						
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等						
	ロ	（イ）以外の公衆浴場						
10項		停車場・発着場	2	1	1			
11項		神社・寺院・教会等	3	1	2			
12項	イ	工場・作業場等	11	8	2			1
	ロ	映画ｽﾀｼﾞｵ・ﾃﾚﾋﾞｽﾀｼﾞｵ						
13項	イ	自動車車庫・駐車場						
	ロ	飛行機・ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰの格納庫						
14項		倉庫	10	6	4			
15項		前各項以外の事業場	23	14	8			1
16項	イ	複合用途（特定）	8	5	3			
	ロ	複合用途（その他）	3	3				
17項		重要文化財・美術品等						
専用住宅			21	15	6			
その他								

30. 防火管理者選任及び消防計画届出状況

（令和3年4月1日現在　単位:敷地）

区分			防火管理義務対象物数	防火管理者選任対象物数	防火管理者選任率（%）	消防計画作成対象物数	消防計画作成率（%）
合計			681	667	97.9	667	97.9
1項	イ	劇場・映画館等	3	3	100.0	3	100.0
	ロ	公会堂・集会場等	44	43	97.7	43	97.7
2項	イ	ｷｬﾊﾞﾚｰ・ﾅｲﾄｸﾗﾌﾞ等					
	ロ	遊技場・ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ等	12	12	100.0	12	100.0
	ハ	性風俗関連店舗					
	ニ	カラオケボックス等	3	3	100.0	3	100.0
3項	イ	待合・料理店等					
	ロ	飲食店	49	44	89.8	44	89.8
4項		百貨店・ﾏｰｹｯﾄ等	110	110	100.0	110	100.0
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	13	13	100.0	13	100.0
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	60	60	100.0	60	100.0
6項	イ	病院・診療所・助産所	16	16	100.0	16	100.0
	ロ	福祉施設等	33	33	100.0	33	100.0
	ハ	福祉施設等(通所施設)	36	36	100.0	36	100.0
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	6	6	100.0	6	100.0
7項		小学校・中学校等	22	22	100.0	22	100.0
8項		図書館・美術館等	2	2	100.0	2	100.0
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1	1	100.0	1	100.0
	ロ	（イ）以外の公衆浴場					
10項		停車場・発着場					
11項		神社・寺院・教会等	19	12	63.2	12	63.2
12項	イ	工場・作業場等	36	36	100.0	36	100.0
	ロ	映画ｽﾀｼﾞｵ・ﾃﾚﾋﾞｽﾀｼﾞｵ					
13項	イ	自動車車庫・駐車場					
	ロ	飛行機・ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰの格納庫					
14項		倉庫	16	16	100.0	16	100.0
15項		前各項以外の事業場	51	51	100.0	51	100.0
16項	イ	複合用途（特定）	128	127	99.2	127	99.2
	ロ	複合用途（その他）	21	21	100.0	21	100.0
16項の2		地下街					
16項の3		準地下街					
17項		重要文化財・美術品等					
18項		延長50m以上のｱｰｹｰﾄﾞ					
19項		市町村長の指定する山林					
20項		総務省令で定める舟車					

31. 中高層防火対象物調

（令和3年4月1日現在　単位：棟）

区分			合計	3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階(以上)
合計			341	188	71	32	17	6	6	2	19
1項	イ	劇場・映画館等	1		1						
	ロ	公会堂・集会場等									
2項	イ	ｷｬﾊﾞﾚｰ・ﾅｲﾄｸﾗﾌﾞ等									
	ロ	遊技場・ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ等									
	ハ	性風俗関連店舗									
	ニ	カラオケボックス等									
3項	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店									
4項		百貨店・ﾏｰｹｯﾄ等	1	1							
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	9	2	1			2	3		1
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	173	82	43	18	10	2	1	2	15
6項	イ	病院・診療所・助産所	4	3				1			
	ロ	福祉施設等	3	2	1						
	ハ	福祉施設等(通所施設)	1	1							
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	1	1							
7項		小学校・中学校等	25	14	9	2					
8項		図書館・美術館等									
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	（イ）以外の公衆浴場									
10項		停車場・発着場									
11項		神社・寺院・教会等									
12項	イ	工場・作業場等	10	10							
	ロ	映画ｽﾀｼﾞｵ・ﾃﾚﾋﾞｽﾀｼﾞｵ									
13項	イ	自動車車庫・駐車場	5	2	3						
	ロ	飛行機・ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰの格納庫									
14項		倉庫	8	5	2		1				
15項		前各項以外の事業場	27	19	3	2	3				
16項	イ	複合用途（特定）	45	28	4	6	2	1	2		2
	ロ	複合用途（その他）	28	18	4	4	1				1
16項の2		地下街									
16項の3		準地下街									
17項		重要文化財・美術品等									
18項		延長50m以上のｱｰｹｰﾄﾞ									
19項		市町村長の指定する山林									
20項		総務省令で定める舟車									

32. 用途別消防用設備等の設置状況

（対象物数：令和3年4月1日現在　単位：棟）

区分＼消防用設備等			消火設備			警報設備			避難設備	
			消火器	屋内消火栓	スプリンクラー	自動火災報知設備	漏電火災警報器	非常警報設備	避難器具	誘導灯
合計			2,202	208	74	908	11	433	192	772
1項	イ	劇場・映画館等	3	2	1	3		3		3
	ロ	公会堂・集会場等	56	5		31		27		40
2項	イ	ｷｬﾊﾞﾚｰ・ﾅｲﾄｸﾗﾌﾞ等								
	ロ	遊技場・ﾀﾞﾝｽﾎｰﾙ等	12	3	1	12	1	7		12
	ハ	性風俗関連店舗								
	ニ	カラオケボックス等	3			3		1	1	3
3項	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	71			12		29		59
4項		百貨店・ﾏｰｹｯﾄ等	144	12	5	77		95		133
5項	イ	旅館・ホテル・宿泊所	41	8		19	1	6	8	41
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	430	11		129	2	21	113	32
6項	イ	病院・診療所・助産所	59	3	10	27	1	25	2	55
	ロ	福祉施設等	43		43	43		13	1	43
	ハ	福祉施設等（通所施設）	50	1		37	1	5	3	49
	ニ	幼稚園・特別支援学校等	15	5		11		8	1	13
7項		小学校・中学校等	91	47		63		67	10	18
8項		図書館・美術館等	3					2		
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	1	1		1		1		1
	ロ	（イ）以外の公衆浴場								
10項		停車場・発着場	3	1		3				
11項		神社・寺院・教会等	44				1	23		6
12項	イ	工場・作業場等	286	43		122		11		29
	ロ	映画ｽﾀｼﾞｵ・ﾃﾚﾋﾞｽﾀｼﾞｵ								
13項	イ	自動車車庫・駐車場	37			12				5
	ロ	飛行機・ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰの格納庫								
14項		倉庫	212	35		89		14		34
15項		前各項以外の事業場	336	15		67	2	38	6	48
16項	イ	複合用途（特定）	179	13	14	111		33	30	131
	ロ	複合用途（その他）	76	3		29	2	4	17	17
16項の2		地下街								
16項の3		準地下街								
17項		重要文化財・美術品等	7			7				
18項		延長50m以上のｱｰｹｰﾄﾞ								
19項		市町村長の指定する山林								
20項		総務省令で定める舟車								

33. 危険物施設数及び立入検査実施状況

（施設数：令和3年4月1日現在）
（検査状況：令和2年4月1日～令和3年3月31日　単位：件）

区分		施設数	立入検査実施数（延）	指示勧告数（延）
合計（A＋B＋C）		286	265	11
製造所（A）		1	1	
貯蔵所	小計（B）	215	201	9
	屋内貯蔵所	21	12	
	屋外貯蔵所	10	10	
	屋内タンク貯蔵所	1	1	
	屋外タンク貯蔵所	22	21	
	地下タンク貯蔵所	51	46	
	簡易タンク貯蔵所			
	移動タンク貯蔵所	110	111	9
取扱所	小計（C）	70	63	2
	給油取扱所	44	40	2
	第一種販売取扱所			
	第二種販売取扱所			
	一般取扱所	26	23	
	仮貯蔵	1		

34. 危険物施設の許認可・検査・承認・届出状況

（令和2年4月1日～令和3年3月31日　単位：件）

区分	合計	許可		検査				承認			届出					
		設置	変更	設置完成	変更完成	水圧	水張	仮使用	仮貯蔵	仮取扱	数量変更	保安監督者選任・解任	譲渡・引渡	品名変更	軽微な変更	廃止
合計	123	7	12	7	11		6	6	1			29	2	3	33	6
製造所																
屋内貯蔵所	11	2		2					1			5		1		
屋外貯蔵所																
屋内タンク貯蔵所																
屋外タンク貯蔵所	3		1		1							1				
地下タンク貯蔵所	15		2	1	2			2				5		1	1	1
簡易タンク貯蔵所																
移動タンク貯蔵所	33	5	5	4	5								2		7	5
給油取扱所	45		3		2			3				14			23	
第一種販売取扱所																
第二種販売取扱所																
一般取扱所	10		1		1			1				4		1	2	
タンク製造	6						6									
仮取扱																

35. 火薬類貯蔵施設及び保安検査・立入検査実施状況

（令和2年4月1日～令和3年3月31日　単位：件）

火薬類貯蔵施設	保安検査数	立入検査実施数(延)
3	3	3

36. 火薬類許可・届出処理件数

（令和2年4月1日～令和3年3月31日　単位：件）

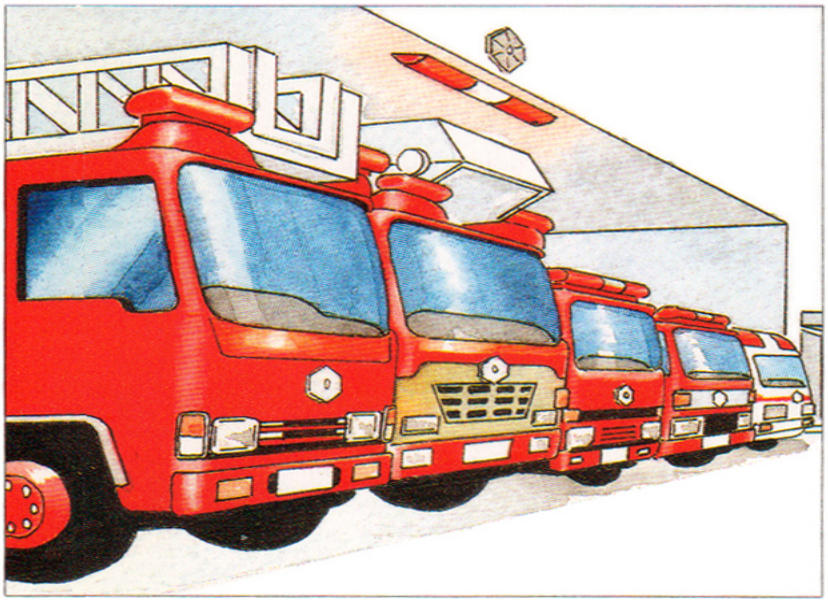
区　　分	件　　数
消費許可（煙火を除く）	4
火薬庫外貯蔵所指示	2
保安検査（火薬庫）	3
火薬類輸入届	
取扱保安責任者選任解任届	
火薬庫出納報告	3
火薬類譲渡許可	
火薬類譲受許可	4

37. 予防関係諸届出状況

（令和2年4月1日～令和3年3月31日　単位：件）

区　　分		届出数
防火対象物使用開始		101
設備設置	変電設備	29
	発電設備	10
	蓄電池設備	7
	ネオン管設備	
少量危険物	貯蔵・取扱	14
	変更	3
	廃止	4
指定可燃物	貯蔵・取扱	7
	変更	
	廃止	1
液化石油ガス	貯蔵・取扱	17
	変更	2
	廃止	2

V　警　防



38. 消防力の基準と現有消防力の比較

（令和3年4月1日現在）

区　　分	基準（A）	現有（B）	比較（B-A）	充足率（%）	備　　考
署　　所	4	4	0	100.0	
指　揮　車	1	1	0	100.0	
消防ポンプ自動車	6	6	0	100.0	水槽付きを含む
小型動力ポンプ	35	35	0	100.0	
はしご付消防車	1	0	△　1	0.0	
化学消防車	2	2	0	100.0	うち１台はポンプ車を化学車換算
救急自動車	4	4	0	100.0	予備車は含まない
救助工作車	1	1	0	100.0	
消　防　職　員	170	104	△　66	61.2	現有数は再任用職員を含む

39. 消防吏員出動状況

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

区　分	火　災（管外への応援出動を含む）		救急業務		救助活動（捜索活動に伴うものを除く）		風水害等の災害	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防吏員	17	195	3,067	9,248	46	374	19	68
構成比(%)	0.5	1.6	82.7	75.2	1.2	3.0	0.5	0.6

区　分	演習・訓練等		広報・指導		警防調査		火災原因調査	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防吏員	13	154	36	129	55	186	30	93
構成比(%)	0.3	1.3	1.0	1.0	1.5	1.5	0.8	0.8

区　分	特別警戒		捜　　索		予防査察		誤報等	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
消防吏員	81	313	3	10	193	615	11	149
構成比(%)	2.2	2.5	0.1	0.1	5.2	5.0	0.3	1.2

区　分	その他		計	
	回数	延人員	回数	延人員
消防吏員	139	760	3,710	12,294
構成比(%)	3.7	6.2	100.00	100.00

40. 消防本部・署車両配置状況

(令和3年4月1日現在)

区　分	車　両　名	年　式	メーカー	排気量cc	ポンプ級別等	備　考
消防本部	指　令　車	H 5	ニッサン	1,980		
	連　絡　車（ステージア）	H11	ニッサン	2,490		㈱ネッツトヨタ仙台名取店より寄贈
	けすゾウくん	H14	マツダ	1,990		日本宝くじ協会より寄贈
	人員搬送車（29人乗り）	R 元	三　菱	2,999		サントリーホールディングス㈱より寄贈
消防署	水槽付消防ポンプ自動車	H20	日　野	6,400	モリタ A-2 積載水 1.5 ㎥	(一財)空港環境整備協会
	水槽付消防ポンプ自動車	H31	日　野	8,860	モリタ A-2 積載水 5 ㎥	
	化学消防ポンプ自動車	H26	日　野	6,400	モリタ A-1 積載水 1.3 ㎥ 薬液 0.5 ㎥	(一財)空港環境整備協会
	消防ポンプ自動車	H 9	三　菱	4,560	GMいちはらA-2	神奈川県海老名市消防本部より寄贈
	救助工作車	H27	日　野	6,400		(一財)空港環境整備協会
	資機材搬送車	H10	三　菱	4,560		
	防災車(サファリ)	H 8	ニッサン	4,160		
	査察車(ミニキャブ)	H11	三　菱	650		東京都下水道局より寄贈
	査察車(アクティ)	H25	ホンダ	650		名取つばさライオンズクラブより寄贈
	連絡車(アクティ)	H 7	ホンダ	650		
	人員搬送車	H25	トヨタ	2,690		サントリーホールディングス㈱より寄贈
	高規格救急自動車	H24	トヨタ	2,690		(一財)空港環境整備協会
	高規格救急自動車	H21	トヨタ	2,690		
	高規格救急自動車	H30	トヨタ	2,690		
	高規格救急自動車	R 元	トヨタ	2,690		仙台国際空港㈱
	高規格救急自動車5台中4台を通常運用、1台を予備車としている					
手倉田出張所	消防ポンプ自動車	H28	日　野	4,000	モリタ A-2 積載水 0.6 ㎥	
閖上出張所	水槽付消防ポンプ自動車	H27	日　野	6,400	モリタ A-2 積載水 1.5 ㎥	
高舘出張所	水槽付消防ポンプ自動車	H26	日　野	6,400	モリタ A-2 積載水 1.5 ㎥	
	消防ポンプ自動車	H 9	日　野	6,720	モリタ A-2	
	高規格救急自動車	H25	トヨタ	2,690		JA名取岩沼・JA共済連宮城より寄贈

41. 消防資器材保有状況

（令和３年４月１日現在）

種別	品　　名	数量	種別	品　　名	数量
放水器具	エアーフォームノズル	6	救急資器材	酸素吸入装置	11
	ラインプロポーショナー	3		自動吸引器	9
	クロスファイアー放水銃	1		減圧式ギブス	6
	ガンタイプ噴霧ノズル	14		血圧計	13
	エコファイター	6		紫外線殺菌ロッカー	2
	二又分岐	9		レスキューシート	8
	背負い式消火水のう	15		スピードボード	5
	ウォーターチャージャー	3		ＫＥＤ	1
	消防用ホース(50 ㎜)	168		リングカッター	2
	消防用ホース(65 ㎜)	255		マイクロベント（人工蘇生器）	6
救助器具	救命索発射銃	2		喉頭鏡	10
	救命ボート（アルミ製)	1		マギール鉗子	9
	救命ボート（ゴム製)	1		血糖測定器	5
	救命ボート（ＦＲＰ製)	1		心肺蘇生人形	28
	船外機	2		携帯型パルスオキシメーター	10
	空気式救助マット	1		防毒マスク	23
	マット式空気ジャッキ	7	高度救命資器材	自動心マッサージ器	4
	大型油圧スプレッター	2		気道管理トレーナー	1
	大型油圧カッター	3		自動人工呼吸器	6
	ラムシリンダー	2		ＡＥＤ	4
	エンジンカッター	7		半自動式除細動器	6
	チェーンソー	8		高度救急処置シミュレーター	3
	酸素溶断器	1		静脈路確保訓練セット	2
	エンジン削岩機	1		高感度聴診器	1
	電動ハンマー	2		小児用聴診器	4
	ストライカー	6		血管透過装置	4
	チルホール	4		患者監視装置	6
	電動丸鋸	1		CO_2モニター	5
	エアーツール	2	保護用具	空気呼吸器	43
	三連梯子	7		酸素呼吸器	9
	カギ付梯子	7		耐熱服	3
	マンホール救助器具	1		耐電衣	13
	画像探査機Ⅱ型	2		陽圧式化学防護服	6
	充電式破壊器具	9		除染シャワーシステム	1
測定器具	可燃性ガス測定器	4		除染剤散布器	1
	放射線測定器	2	その他	救命胴衣	138
	熱画像直視装置	5		バスケットストレッチャー	3
	非常警報器	20		ロープ展張計	2
	超音波膜厚計	1		ロープ登降機	1
	音量計	1		投光器一式	8
	照度計	1		発電機	12
	火報試験機一式	1		送排風機	2
	水圧検査器具	1		エアテント	1
	ピンホール探知器	1		組み立て式水槽	13
	超音波板厚計	1		空気充填用コンプレッサー	1

42. 消防水利地区別配置状況

（令和3年4月1日現在）

施設別 / 地区別	消火栓			防火貯水槽	プール等	海
	地下式	地上式	小計			
増田	353 (313)	14 (14)	367 (327)	32 (32)	5 (5)	0 (0)
閑上	54 (48)	6 (6)	60 (54)	16 (16)	1 (1)	10 (10)
下増田	43 (34)	0 (0)	43 (34)	16 (14)	1 (1)	0 (0)
名取が丘	54 (48)	0 (0)	54 (48)	9 (9)	1 (1)	0 (0)
館腰	164 (139)	2 (2)	166 (141)	24 (22)	1 (1)	0 (0)
愛島	162 (134)	1 (1)	163 (135)	38 (36)	1 (1)	0 (0)
高舘	269 (215)	22 (15)	291 (230)	33 (32)	8 (8)	0 (0)
杜せきのした	29 (29)	0 (0)	29 (29)	17 (17)	0 (0)	0 (0)
美田園	63 (63)	0 (0)	63 (63)	9 (9)	0 (0)	0 (0)
合計	1,191 (1,023)	45 (38)	1,236 (1,061)	194 (187)	18 (18)	10 (10)

（ ）内は基準内水利数

43. 消火栓管径別状況

（令和3年4月1日現在）

管径（mm）	合計	100未満	100～150	200～250	300以上
設置数	1,236	162	747	202	125

44. 消防相互応援協定等締結状況

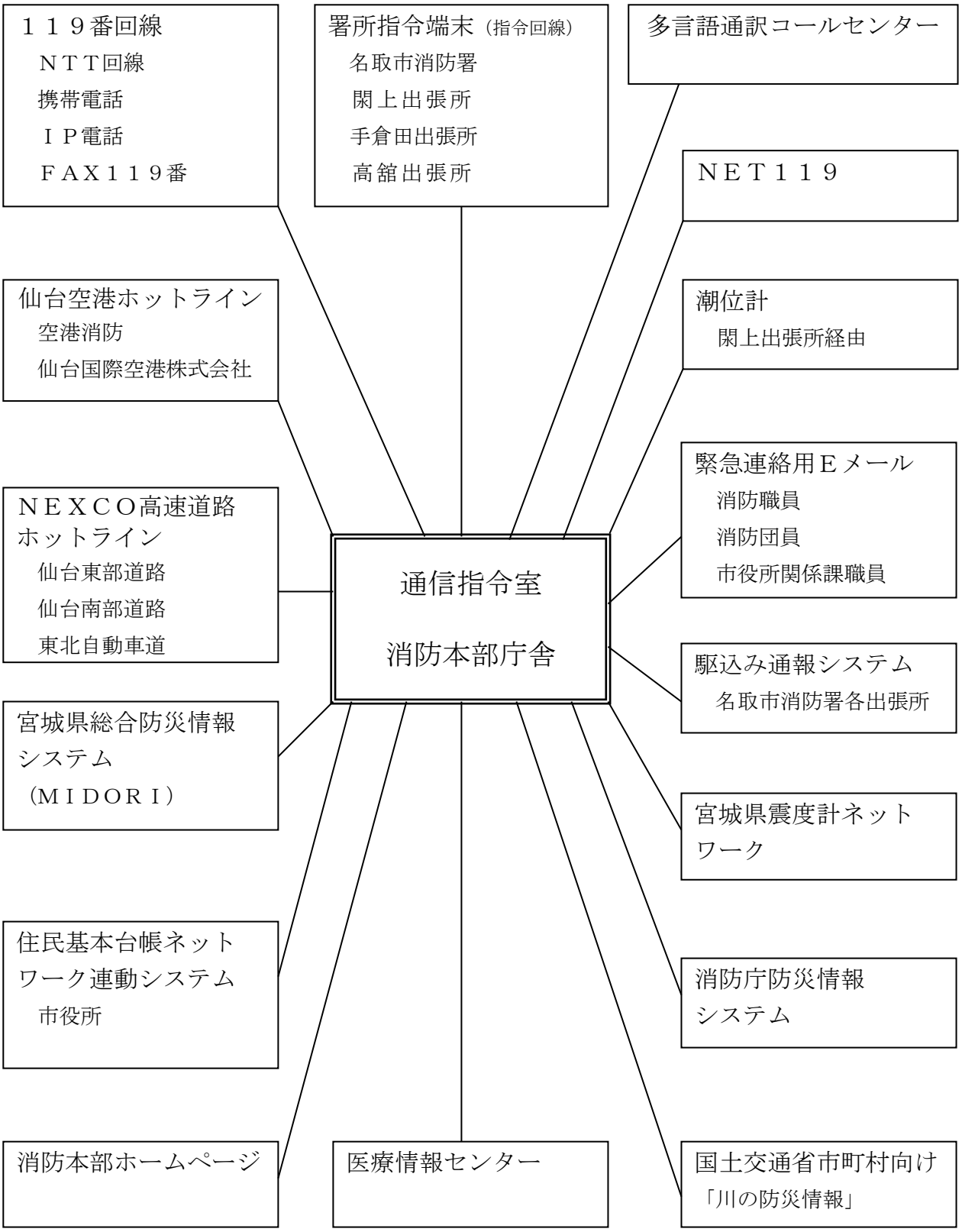
番号	応援協定等の名称	締結年月日
	応援協定等の内容	
1	消防相互応援協定	Ｓ４８．４．１
	・目　　的 大規模火災、特殊火災、突発的災害に対して相互に応援する。 ・協定市等（9団体） 名取市・仙台市・岩沼市・塩釜市・多賀城市・松島町・七ヶ浜町・利府町・塩釜地区消防事務組合	
2	名取市消防本部と仙台市ガス局・名取市農業協同組合とのガス災害対策に関する業務協定	Ｓ５７．６．１
	・目　　的 仙台市ガス局・名取市農業協同組合が供給するガスに起因する災害の防止、又は災害が発生した場合、被害の軽減を図るため相互に協力する。 ・協定団体 仙台市ガス局、名取市農業協同組合（名取岩沼農業協同組合に名称変更）	
3	東北自動車道宮城県消防相互応援協定	Ｓ６３．７．１
	・目　　的 東北自動車道における火災、救急又はその他の災害が発生した場合、相互に応援し被害の軽減を図る。 ・協定市等（６団体・覚書７団体） 名取市・仙台市・仙南地域広域行政事務組合・栗原地域広域行政事務組合（栗原市）・大崎地域広域行政事務組合・黒川地域行政事務組合 ・改 正 等 Ｈ２１．９．１　一部改正	
4	山形自動車道宮城県消防応援協定	Ｓ６３.１１．１
	・目　　的 山形自動車道のうち、笹谷ＩＣまでの区間における消防業務に関する応援を実施する。 ・協定市等（3団体） 名取市・仙台市・仙南地域広域行政事務組合	
5	仙台東部道路消防相互応援協定	Ｈ7．7．7
	・目　　的 仙台東部道路において、火災、救急、又はその他の災害が発生した場合、相互に応援し被害の軽減を図る。 ・協定市等 名取市・岩沼市 ・改 正 等 Ｈ１３．８．１　一部改正	
6	宮城県防災ヘリコプターを使用した大規模特殊災害時における広域航空消防応援に関する協定	Ｈ１６．４．１
	・目　　的 宮城県に派遣されている職員の応援派遣に関する手続き等について、必要な事項の協定。 ・協定市等（１３団体） 宮城県・仙台市・名取市・岩沼市・石巻地区広域行政事務組合・塩釜地区消防事務組合・亘理地区行政事務組合・仙南地域広域行政事務組合・栗原地域広域行政事務組合（栗原市）・大崎地域広域行政事務組合・登米地域広域行政事務組合（登米市）・気仙沼本吉地域広域行政事務組合・黒川地域行政事務組合	

番号	応援協定等の名称	締結年月日
	応援協定等の内容	
7	鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関との連携に関する協定	Ｈ２１．１２．２５
	・目　　的 鉄道災害発生時において鉄道事業者と消防機関との連携を図り、より迅速かつ効率的な消防活動、及び安全管理体制の確保に努めるとともに、公共交通機関の早期運転再開の実施を図る。 ・協定団体（１８団体） 東日本旅客鉄道株式会社仙台支社・東日本旅客鉄道株式会社水戸支社・東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社・日本貨物鉄道株式会社・阿武隈急行株式会社・仙台空港鉄道株式会社・仙台臨海鉄道株式会社・仙台市消防局・名取市消防本部・岩沼市消防本部・石巻地区広域行政事務組合消防本部・塩釜地区消防事務組合消防本部・亘理地区行政事務組合消防本部・仙南地域広域行政事務組合消防本部・栗原市消防本部・大崎地域広域行政事務組合消防本部・登米市消防本部・気仙沼本吉地域広域行政事務組合消防本部	
8	災害時応援協定	Ｈ２３．１２．２６
	・目　　的 水難事故発生時において、救助活動に協力する必要事項の協定。 ・協定団体　　株式会社潜匠	
9	仙台東部道路及び仙台南部道路消防相互応援協定	Ｈ２５．７．１
	・目　　的 仙台東部道路等において、火災、救急、又はその他の災害が発生した場合、相互に応援し被害の軽減を図る。 ・協定市等（3団体）　仙台市・名取市・仙南地域広域行政事務組合 ・改 正 等 Ｈ１３．８．　１　仙台市と名取市で締結していた旧協定を廃止。 Ｈ１７．３．１５　協定市等に仙南地域広域行政事務組合を加えた３団体で協定を締結。 Ｈ２５．６．３０　道路管理者変更に伴う上記協定の廃止	
１０	名取市消防本部と仙南ガス株式会社とのガス災害対策に関する業務協定	Ｈ２９．５．１２
	・目　　的 名取市内において仙南ガスが供給するガスに起因する災害の防止、又は災害が発生した場合、被害の軽減を図るため相互に協力する。 ・協定団体　　仙南ガス株式会社	
１１	災害時における消防用水等の確保に関する協定	Ｈ３０．５．１４
	・目　　的 名取市内において大規模な林野火災等の災害が発生した際にコンクリートミキサー車による消防用水を確保するための必要な事項を定める協定。 ・協定団体　　仙台地区生コンクリート協同組合・株式会社タイハク	
１２	宮城県広域消防相互応援協定	Ｈ３１．４．１
	・目　　的 大規模、又は特殊な災害に際し、県内全消防本部が相互に支援する。 ・協定市等（１１団体） 仙台市、名取市、登米市、栗原市、黒川地域行政事務組合、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、亘理地区行政事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 ・改 正 等 Ｈ３１．４．１　岩沼市消防本部と亘理地区消防本部の広域化に伴い締結者が変更となったことから、Ｈ４．４．１締結の旧協定書を廃止し、新たな協定の締結。	

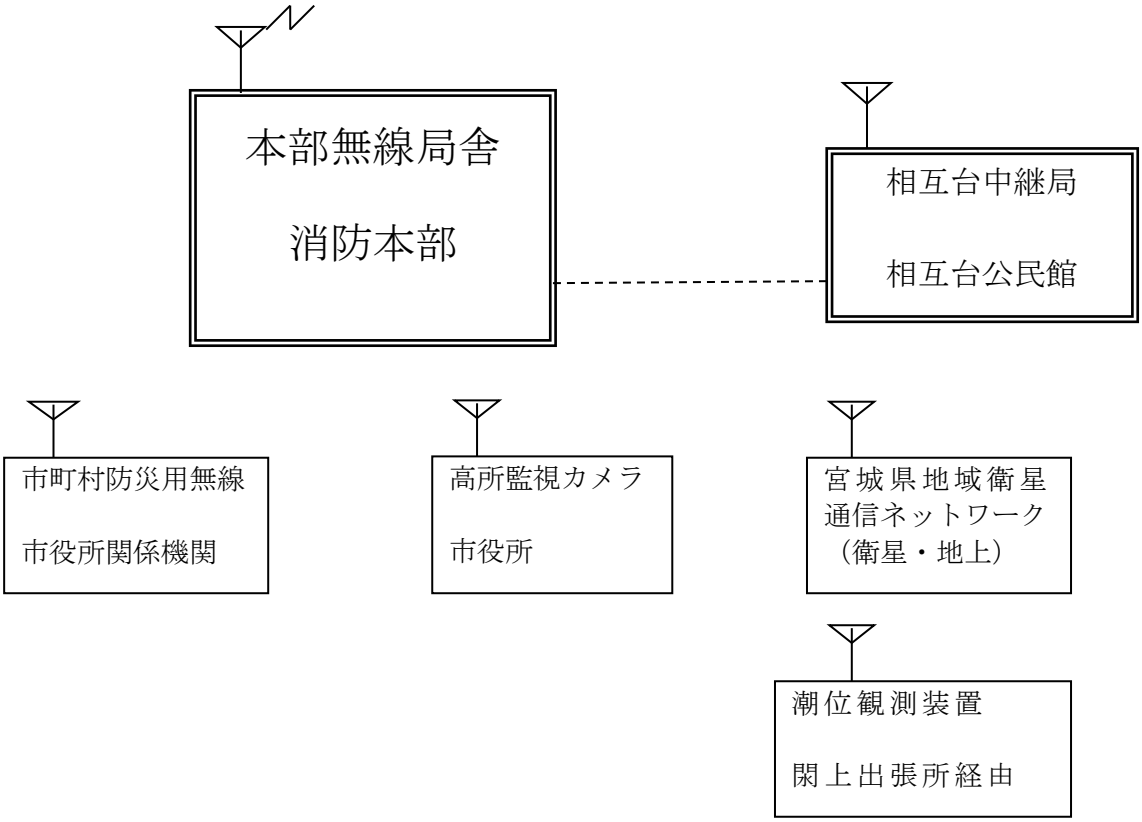
番号	応援協定等の名称	締結年月日
	応援協定等の内容	
１３	宮城県広域航空消防応援協定	Ｈ３１．４．１
	・目　　的 宮城県が所有する防災ヘリコプターの応援を求めることについて、必要事項の協定。 ・協定市等（12団体） 宮城県、仙台市、名取市、登米市、栗原市、黒川地域行政事務組合、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、亘理地区行政事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 ・改 正 等 Ｈ３１．４．１　岩沼市消防本部と亘理地区消防本部の広域化に伴い締結者が変更となったことから、Ｈ4．４．１締結の旧協定書を廃止し、新たな協定の締結。	
１４	宮城県内航空消防応援協定	Ｈ３１．４．１
	・目　　的 仙台市が保有する消防ヘリコプターの応援を求めることについて、必要事項の協定。 ・協定市等（１１団体） 仙台市、名取市、登米市、栗原市、黒川地域行政事務組合、石巻地区広域行政事務組合、塩釜地区消防事務組合、亘理地区行政事務組合、仙南地域広域行政事務組合、大崎地域広域行政事務組合、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 ・改 正 等 Ｈ３１．４．１　岩沼市消防本部と亘理地区消防本部の広域化に伴い締結者が変更となったことから、Ｈ１３．４．１締結の旧協定書を廃止し、新たな協定の締結。	
１５	仙台空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	Ｒ３．３．２３
	・目　　的 空港、及びその周辺における航空機に関する火災、若しくは空港におけるその他の火災、又はそれらの発生のおそれのある事態に際し、緊密な協力のもとに一貫した消火救難活動を実施し、被害の防止、又は軽減を図る。 ・協定市等（5団体） 仙台国際空港株式会社・名取市・岩沼市・仙台市・亘理地区行政事務組合 ・改 正 等 Ｈ６．９．８　３団体で締結していた旧協定を廃止し、協定市等に仙台市を加えた４団体で協定を締結。 Ｈ２２．３．３１　覚書の一部改正。 Ｈ２８．６．２８　仙台空港民営化に伴い東京航空局仙台空港事務所との協定を廃止。 Ｈ２８．６．３０　上記の理由により、覚書を廃止。 Ｈ２８．６．２８　仙台国際空港株式会社と３市で協定書及び覚書を締結。 Ｒ３．３．２３　岩沼市消防本部と亘理地区消防本部の広域化に伴い締結者が変更になったことから、上記の旧協定書を廃止し、新たに仙台国際空港株式会社と３市１組合で協定書及び覚書の締結。	
１６	災害発生における消防活動に関する応援協定	Ｒ３．４．１
	・目　　的 市域内における３階以上の中高層建築物からの火災、列車事故、及び自然災害等の発生に際し、高所作業車の応援を受けて消防活動を有効に行うことについて、必要な事項の協定。 ・協定団体　　名取電気工事災害協力会 ・改 正 等 Ｈ２６．１２．１ 締結した旧協定の上記代表者変更に伴う協定書の再締結。	

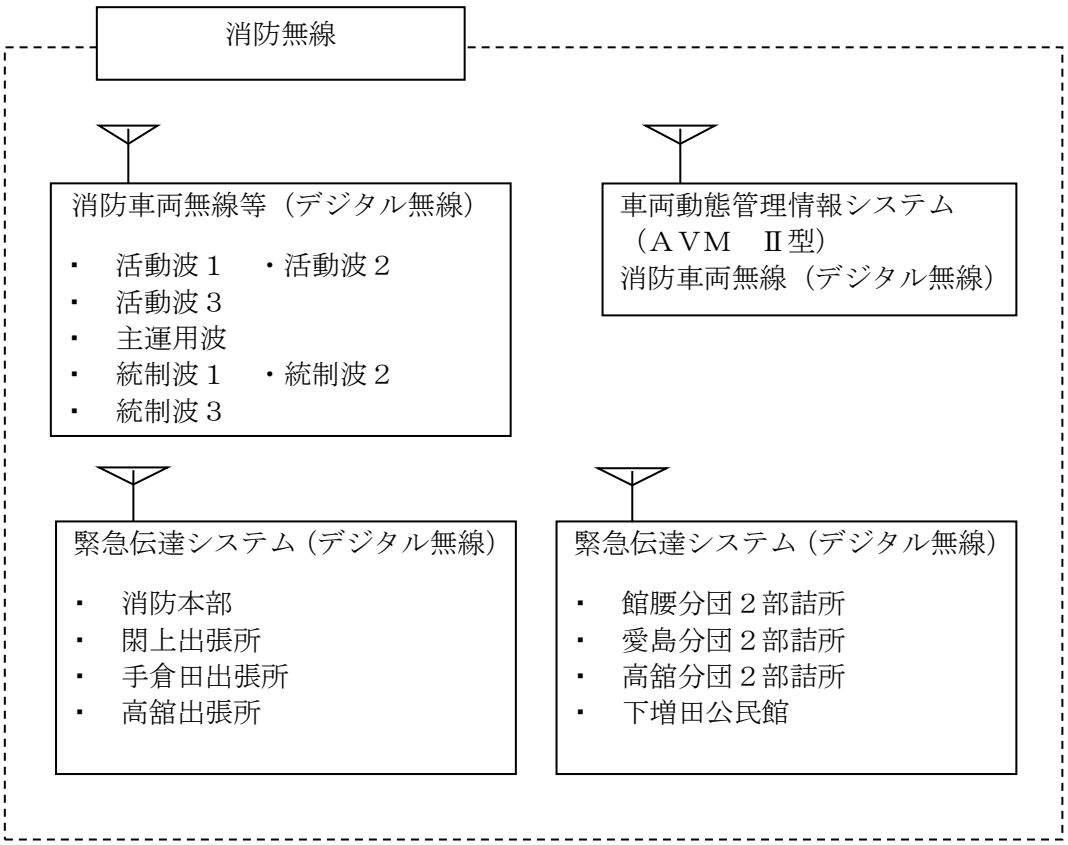
Ⅵ　通信・指令

45. 通信指令系統図（有線）



46. 通信指令系統図（無線）





47. 通信指令施設一覧

（１）通信指令装置設備

（令和3年4月1日現在）

指令台	医療情報システム	住民基本台帳連動装置
車両運用表示装置	情報収集用テレビ（4台）	非常用指令施設
病院運用表示装置	情報発信システム （ホームページ）	非常用発電装置
指令電送装置（出力装置4台）	表示装置 （大型ディスプレイ指令室3台、 事務室1台、待機室1台）	署所端末装置（4台）
自動出動指定装置		地域衛星通信ネットワーク
地図検索処理装置	消防車両動態管理情報システム	市防災無線移動局
無線統制台	災害状況等自動案内装置	災害情報・招集一斉発信装置 （Ｅメール）
音声合成装置	119番ファクシミリ受信装置	
気象情報収集装置	消防情報支援システム	消防庁防災情報システム 端末装置
高所監視装置	震度ネットワーク（震度計）	電子式電話交換設備
潮位観測装置		

（２）電話回線

119番回線	一般回線	携帯回線
ＮＴＴ119番回線　（4回線） ＩＰ電話119番回線 ＫＤＤＩ　（2回線） ソフトバンクテレコム　（2回線） ＮＴＴひかり　（2回線） TOHKnet　（2回線） RakutenM　（2回線） 携帯119番回線　（4回線）	一般電話　（7回線） 指令台専用回線 （2回線・INS1回線） 自動案内回線　（INS6回線） インターネット接続回線 （光2回線） その他機器用回線　（2回線）	救急車車載携帯電話　（4台） 救急活動等動画像伝送用 スマートフォン　（4台） 災害活動用携帯電話　（7台）
有線専用回線	他機関専用回線	
指令回線（イーサネット回線）	仙台空港ホットライン 多言語通訳コールセンター	ＮＥＸＣＯ高速道路ホットライン

48. 消防救急無線局一覧

消防救急デジタル無線　　（令和3年4月1日現在）

呼　出　名　称	空中線	機器の概要	設置場所
なとりしょうぼう　ほんぶ	10w	基地局 活動波１、活動波２、活動波３、主運用波、統制波１	消防本部
なとりしょうぼう　そうごだい	3.16w	統制波２、統制波３	相互台公民館

呼　出　名　称	空中線	機器の概要	呼　出　名　称	空中線	機器の概要	配置場所
なとりしょうぼう　しれい１	5w	移動局 車載無線 活動波１ 活動波２ 活動波３ 主運用波 統制波１ 統制波２ 統制波３	なとりしょうぼう　５０	1w	移動局 携帯無線 活動波１ 活動波２ 活動波３ 主運用波 統制波１ 統制波２ 統制波３	指揮１号車積載
なとりしょうぼう　しき１	5w		なとりしょうぼう　５１	1w		水槽１号車積載
なとりしょうぼう　しき２	5w		なとりしょうぼう　５２	1w		消防本部
なとりしょうぼう　１	5w		なとりしょうぼう　５３	1w		化学１号車積載
なとりしょうぼう　すいそう１	5w		なとりしょうぼう　５４	1w		手倉田１号車積載
なとりしょうぼう　すいそう３	5w		なとりしょうぼう　５５	1w		水槽３号車積載
なとりしょうぼう　きゅうじょ１	5w		なとりしょうぼう　５６	1w		救助工作車積載
なとりしょうぼう　かがく１	5w		なとりしょうぼう　５７	1w		救助工作車積載
なとりしょうぼう　ささつ２	5w		なとりしょうぼう　５８	1w		名取消防１積載
なとりしょうぼう　こうほう１	5w		なとりしょうぼう　５９	1w		指揮１号車積載
なとりしょうぼう　こうほう２	5w		なとりしょうぼう　６０	1w		水槽１号車積載
なとりしょうぼう　はんそう１	5w		なとりしょうぼう　７０	1w		手倉田１号車積載
なとりしょうぼう　はんそう2	5w		なとりしょうぼう　７１	1w		閖上１号車積載
なとりしょうぼう　てくらだ１	5w		なとりしょうぼう　７２	1w		高舘１号車積載
なとりしょうぼう　ゆりあげ１	5w		なとりしょうぼう　７３	1w		高舘２号車積載
なとりしょうぼう　たかだて１	5w		なとりしょうぼう　８０	1w		市役所防災安全課
なとりしょうぼう　たかだて２	5w		なとりしょうぼう　９１	1w		救急５号車積載
なとりしょうぼう　きゅうきゅう１	5w		なとりしょうぼう　９２	1w		救急６号車積載
なとりしょうぼう　きゅうきゅう２	5w		なとりしょうぼう　９３	1w		救急１、３号車積載
なとりしょうぼう　きゅうきゅう３	5w		なとりしょうぼう　９５	2w		救急２号車積載
なとりしょうぼう　きゅうきゅう５	5w		なとりしょうぼう　かはん１	5w	移動局可搬無線	消防本部
なとりしょうぼう　きゅうきゅう６	5w		なとりしょうぼう　かはん２	5w		消防本部

消防団車載無線

なとりしょうぼう　ますだ１ぶ	5w		なとりしょうぼう　ゆりあげ１ぶ	5w	
なとりしょうぼう　ますだ２ぶ	5w		なとりしょうぼう　ゆりあげ２ぶ	5w	
なとりしょうぼう　ますだ３ぶ	5w		なとりしょうぼう　ゆりあげ３ぶ	5w	
なとりしょうぼう　ますだ４ぶ	5w		なとりしょうぼう　ゆりあげ４ぶ	5w	
なとりしょうぼう　ますだ５ぶ	5w	移動局	なとりしょうぼう　ゆりあげ５ぶ	5w	移動局
なとりしょうぼう　ますだ６ぶ	5w	消防団	なとりしょうぼう　ゆりあげ６ぶ	5w	消防団
なとりしょうぼう　ますだ７ぶ	5w	車載無線	なとりしょうぼう　しもますだ１ぶ	5w	車載無線
なとりしょうぼう　たてこし１ぶ	5w		なとりしょうぼう　しもますだ２ぶ	5w	
なとりしょうぼう　たてこし２ぶ	5w		なとりしょうぼう　しもますだ３ぶ	5w	
なとりしょうぼう　たてこし３ぶ	5w		なとりしょうぼう　しもますだ４ぶ	5w	
なとりしょうぼう　たてこし４ぶ	5w		なとりしょうぼう　しもますだ５ぶ	5w	
なとりしょうぼう　たてこし５ぶ	5w		なとりしょうぼう　たかだて１ぶ	5w	
なとりしょうぼう　めでしま１ぶ	5w	活動波２	なとりしょうぼう　たかだて２ぶ	5w	活動波２
なとりしょうぼう　めでしま２ぶ	5w		なとりしょうぼう　たかだて３ぶ	5w	
なとりしょうぼう　めでしま３ぶ	5w		なとりしょうぼう　たかだて４ぶ	5w	
なとりしょうぼう　めでしま４ぶ	5w		なとりしょうぼう　たかだて５ぶ	5w	
なとりしょうぼう　めでしま５ぶ	5w		なとりしょうぼう　たかだて６ぶ	5w	

消防団緊急伝達システム

なとりしょうぼう　くんれんとう	0.05w	固定局 活動波２	なとりしょうぼう　てくらだ	0.05w	固定局 活動波２
なとりしょうぼう　ゆりあげ	0.05w		なとりしょうぼう　たかだて	0.05w	
なとりしょうぼう　たかだて１	0.05w		なとりしょうぼう　めでしま	0.05w	
なとりしょうぼう　しもますだ	0.05w		なとりしょうぼう　たてこし	0.05w	

消防団携帯無線

なとりしょうぼう　だんほんぶ１	１w	移動局 消防団 携帯無線 活動波１ 活動波２	なとりしょうぼう　しもますだぶんだん２	１w	移動局 消防団 携帯無線 活動波１ 活動波２
なとりしょうぼう　だんほんぶ２	１w		なとりしょうぼう　たてこしぶんだん１	１w	
なとりしょうぼう　だんほんぶ３	１w		なとりしょうぼう　たてこしぶんだん２	１w	
なとりしょうぼう　ますだぶんだん１	１w		なとりしょうぼう　めでしまぶんだん１	１w	
なとりしょうぼう　ますだぶんだん２	１w		なとりしょうぼう　めでしまぶんだん２	１w	
なとりしょうぼう　ゆりあげぶんだん１	１w		なとりしょうぼう　たかだてぶんだん１	１w	
なとりしょうぼう　ゆりあげぶんだん２	１w		なとりしょうぼう　たかだてぶんだん２	１w	
なとりしょうぼう　しもますだぶんだん１	１w				

その他の無線

ぼうさいなとり　しょうぼう	県 防 災 無 線 電 話 （ＦＡＸ含） （衛星系､地上系）	10w

簡易デジタル無線（計94台）

消防団長　1台					
副団長　各1台　計2台					
増田分団長	増田副分団長	増田分団 計16台	館腰分団長	館腰副分団長	館腰分団 計12台
増田1-1	増田1-2		館腰1-1	館腰1-2	
増田2-1	増田2-2		館腰2-1	館腰2-2	
増田3-1	増田3-2		館腰3-1	館腰3-2	
増田4-1	増田4-2		館腰4-1	館腰4-2	
増田5-1	増田5-2		館腰5-1	館腰5-2	
増田6-1	増田6-2				
増田7-1	増田7-2				
下増田分団長	下増田副分団長	下増田分団 計12台	愛島分団長	愛島副分団長	愛島分団 計12台
下増田1-1	下増田1-2		愛島1-1	愛島1-2	
下増田2-1	下増田2-2		愛島2-1	愛島2-2	
下増田3-1	下増田3-2		愛島3-1	愛島3-2	
下増田4-1	下増田4-2		愛島4-1	愛島4-2	
下増田5-1	下増田5-2		愛島5-1	愛島5-2	
閖上分団長	閖上副分団長	閖上分団 計14台	高舘分団長	高舘副分団長	高舘分団 計14台
閖上1-1	閖上1-2		高舘1-1	高舘1-2	
閖上2-1	閖上2-2		高舘2-1	高舘2-2	
閖上3-1	閖上3-2		高舘3-1	高舘3-2	
閖上4-1	閖上4-2		高舘4-1	高舘4-2	
閖上5-1	閖上5-2		高舘5-1	高舘5-2	
閖上6-1	閖上6-2		高舘6-1	高舘6-2	
			消防本部-１～１１		消防本部 計11台

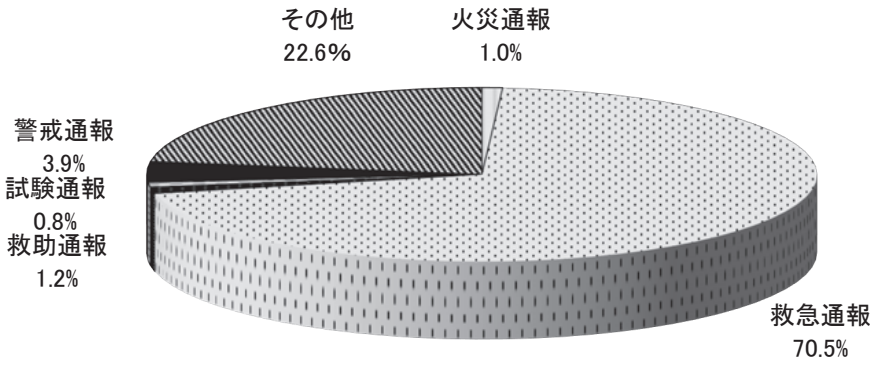
49. 災害通報入電状況

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	合計
火災通報	2	1	13	4	2	4	3	2	3	0	6	3	43
救急通報	270	239	260	201	251	267	234	292	261	266	216	299	3,056
救助通報	4	5	4	3	3	5	4	2	8	4	4	6	52
試験通報	5	10	4	1	0	1	4	0	5	0	4	2	36
警戒通報	8	6	16	31	8	6	24	12	14	17	17	11	170
その他	66	75	87	70	91	82	84	86	74	93	88	84	980
合　　計	355	336	384	310	355	365	353	394	365	380	335	405	4,337

※その他＝いたずら・間違い・通報訓練等

令和2年災害通報入電割合



50. 病院情報提供状況

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

種別／科目	１１９番	一般加入	駆け込み	合計	提供先病院		平日休日別	
					市内	市外	平日	休日
内　　科	45	62	0	107	39	68	58	49
整形外科	19	28	0	47	4	43	17	30
小　児　科	12	17	0	29	4	25	12	17
そ　の　他	31	44	0	75	12	63	41	34
合　　計	107	151	0	258	59	199	128	130

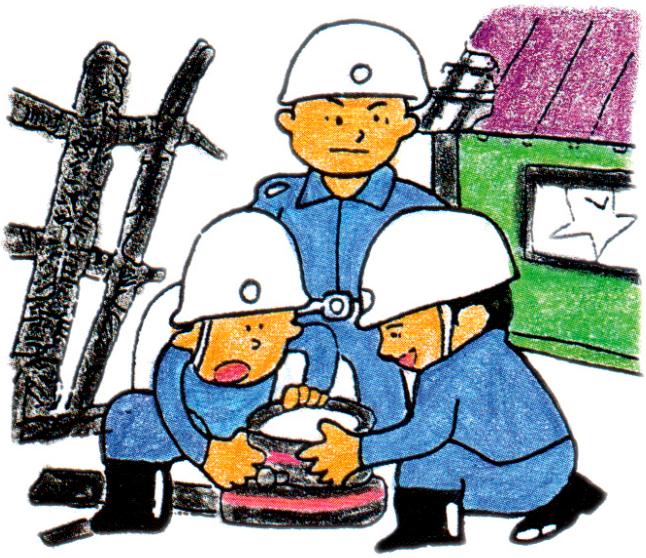
51. 気象観測状況

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

観測項目	計測値	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間平均
風速	平均風速(m/s)	2.0	2.0	2.5	2.5	1.9	1.6	1.3	1.5	1.9	1.6	1.9	0.7	1.8
	最大瞬間(m/s)	16.1	21.1	23.1	22.7	21.3	12.8	10.2	11.9	12.6	17.9	15.6	16.6	－
気温	平均気温(℃)	3.6	3.9	7.0	9.7	16.3	20.6	20.9	26.2	22.1	15.1	10.5	3.6	13.3
	最高(℃)	10.6	14.8	17.7	21.3	30.9	32.2	28.2	35.8	34.0	23.8	23.1	13.7	－
	最低(℃)	−2.6	−6.0	−1.0	−1.9	6.1	13.5	15.5	19.4	13.9	6.8	−0.2	−3.4	－
湿度	平均湿度(%)	81.5	79.6	74.6	74.7	81.0	88.0	97.2	91.9	92.4	86.0	80.3	85.4	84.4
雨量	月換算雨量(mm)	114.5	15.5	27.5	125.5	98.5	33.0	302.5	42.0	213.5	45.5	0.5	7.5	85.5

名取市消防本部観測

Ⅶ　火　災



52. 令和２年の火災の実態

１．出火件数

（１）令和２年中の総出火件数は 18 件で、前年の 21 件に比べて３件減少している。

総出火件数 18 件のうち、建物火災が 10 件（約 56%）、次いでその他の火災が６件（約 33%）、車両火災が２件（約 11%）となっている。

（２）建物火災件数は、前年の 12 件から２件減少している。

２．焼損面積

（１）建物火災の焼損面積(表面積及び類焼面積を含む)は 338 ㎡で、前年の 603 ㎡から 265 ㎡の減少となっている。

（２）車両火災による車両の焼損台数は２台で、前年の４台から２台の減少となっている。

（３）その他の火災による焼損面積は 312 ㎡で、前年の 555 ㎡から 243 ㎡減少している。

３．損 害 額

令和２年中の火災による損害額は 41,634 千円で、前年の 30,935 千円から約 135%増となっている。そのうち建物火災での損害額が一番多く、41,231 千円となっており全体の約 99%を占めている。

４．死 傷 者

令和２年中の火災による死傷者は、建物火災で３名、その他の火災で１名が負傷し、死者は発生しなかった。

５．出火原因

原因が断定及び推定されているもので一番多いのが放火・放火の疑いで３件、次いで配線器具、電気機器の各２件となっている。

53. 令和２年火災統計総括表

区分／月別	出火件数								焼損面積								死傷者	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	（爆発）	建物（㎡）		建物収容物のみ焼損	林野（a）	車両（台）	船舶（隻）	航空機（機）	その他（㎡）	死者	負傷者
									床面積	表面積								
1月	1	1									1							
2月	0																	
3月	2	2							200	4	1							1
4月	2	2							134		1							
5月	0																	
6月	3	1					2									312		1
7月	3	1		1			1				1		1					
8月	1	1									1							
9月	2	2						1			1							2
10月	0																	
11月	2			1			1						1					
12月	2						2											
合計	18	10		2			6	1	334	4	6		2			312		4

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

り災棟数					り災世帯数				り災人員	火災種別損害額（千円）							
計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	（爆発）
1				1	1			1	1	10	10						
5	3		1	1	1	1			3	14,315	14,315						
2		1		1						26,066	26,066						
1				1	1			1	1	34	26					8	
1				1						406	16		390				
1				1						6	6						
1				1						792	792						786
										4			4				
										1						1	
12	3	1	1	7	3	1		2	5	41,634	41,231		394			9	786

54. 火災の概況

区分			令和２年 (A)	令和元年 (B)	増減 (A)-(B)＝(C)	増減率（%） (C)/(B)×100
出火件数	建物		10	12	△ 2	△ 16.7
	林野					
	船舶					
	車両		2	4	△ 2	△ 50.0
	その他		6	5	1	20.0
	計		18	21	△ 3	△ 14.3
り災棟数	全焼		3	6	△ 3	△ 50.0
	半焼		1	0	1	―
	部分焼		1	2	△ 1	△ 50.0
	ぼや		7	7	0	0.0
	計		12	15	△ 3	△ 20.0
焼損面積	建物（㎡）	床面積	334	599	△ 265	△ 44.2
		表面積	4	4	0	0.0
	林野（a）					
	車両（台）		2	5	△ 3	△ 60.0
	その他（㎡）		312	555	△ 243	△43.8
死傷者	死者		0	2	△ 2	△ 100.0
	負傷者		4	0	4	―
	計		4	2	2	100.0
り災世帯数	全損		1	1	0	0.0
	半損					
	小損		2	8	△ 6	△ 75.0
	計		3	9	△ 6	△ 66.7
り災人員			5	25	△ 20	△ 80.0
火災種別損害額（単位…千円）	建物		41,231	29,999	11,232	37.4
	林野					
	車両		394	936	△ 542	△ 57.9
	船舶					
	航空機					
	その他		9	0	9	―
	計		41,634	30,935	10,699	34.6
出火率（人口1万人当りの件数）			2.3	2.7	△ 0.4	△ 14.8

人口は令和2年12月末現在

55. 出火原因別火災件数・損害額

※( )内は建物火災

出火原因	令和2年		令和元年	
	件数	損害額（千円）	件数	損害額（千円）
放火	0	0	3 (1)	6 (6)
放火の疑い	3 (1)	1 (0)	1 (1)	3,342 (3,342)
電気機器	2 (2)	792 (792)	2	262
配線器具	2 (2)	16 (16)	1 (1)	0
たき火	1 (1)	14,315 (14,315)	1	0
交通機関内配線	1	390	0	0
たばこ	1 (1)	26 (26)	2 (2)	22 (22)
排気管	1	4	1	150
火あそび	1	0	1	0
こんろ	0	0	1 (1)	50 (50)
溶断機・切断機	0	0	1	0
その他	5 (3)	26,090 (26,082)	5 (4)	16,268 (15,744)
不明	1	0	2 (2)	10,835 (10,835)
合計	18 (10)	41,634 (41,231)	21 (12)	30,935 (29,999)

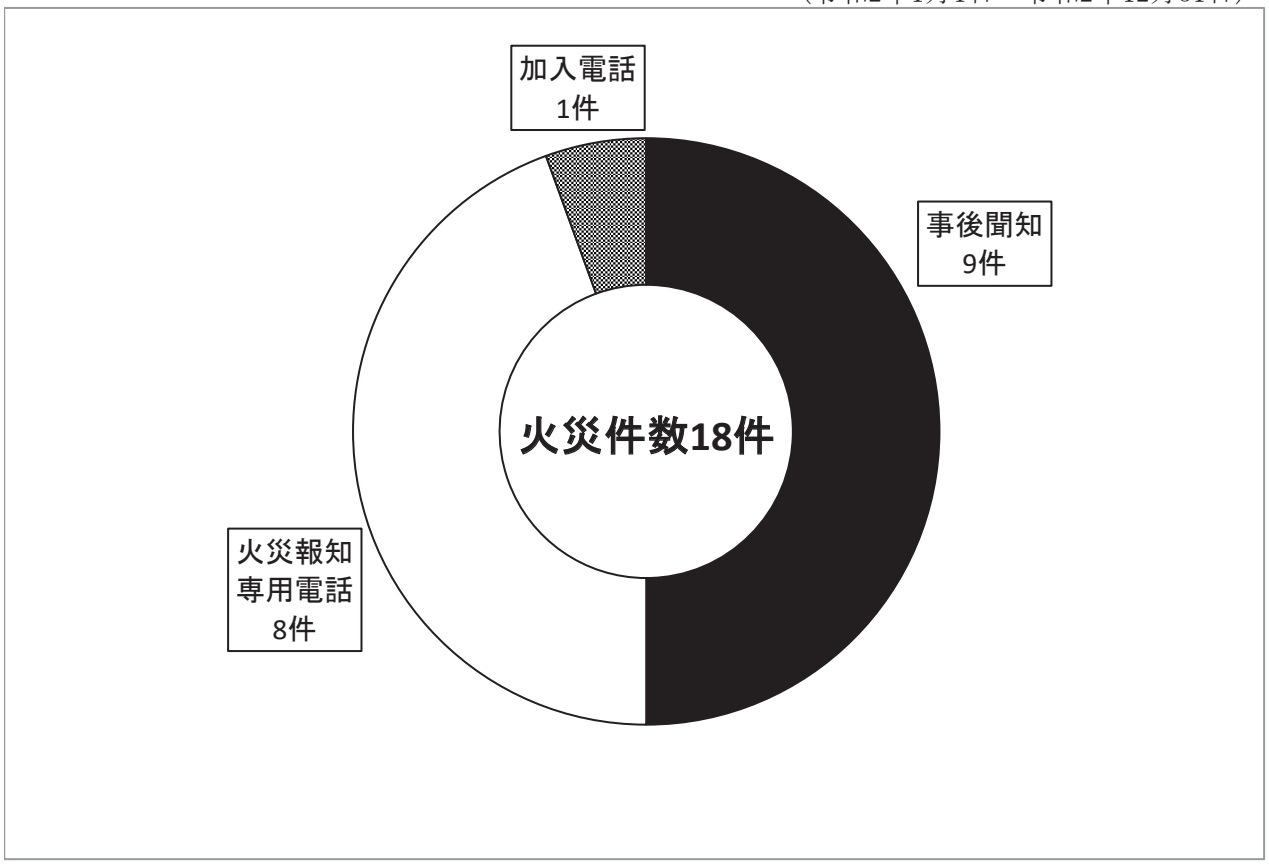
56. 地区別火災発生状況と損害額

	火災件数	世帯数	人口	火災種別					損害額	
				建物	車両	船舶航空機	林野	その他	損害額（千円）	一世帯当たり（円）
増田	5	11,624	26,803	5					837	72
	(6)	(11,353)	(26,574)	(3)	(1)			(2)	(677)	(60)
閑上	3	1,354	3,028	1				2	10	7
	(2)	(1,312)	(2,898)	(2)					(15,741)	(11,998)
下増田	0	3,130	8,116						0	0
	(1)	(3,028)	(8,017)	(1)					0	0
名取が丘	0	2,279	5,328						0	0
	(1)	(2,238)	(5,315)	(1)					(10,557)	(4,717)
館腰	4	3,363	7,844	2	1			1	404	120
	(6)	(3,313)	(7,836)	(3)	(1)			(2)	(3,684)	(1,112)
愛島	3	3,270	9,629	1	1			1	14,320	4,379
	(1)	(3,242)	(9,624)					(1)	0	0
高舘	3	6,962	18,907	1				2	26,063	3,744
	(4)	(6,841)	(18,933)	(2)	(2)				(276)	(40)
計	18	31,982	79,655	10	2	0	0	6	41,634	1,302
	(21)	(31,327)	(79,197)	(12)	(4)	(0)	(0)	(5)	(30,935)	(153)

（　　）内は令和元年、人口・世帯数は令和2年12月末現在

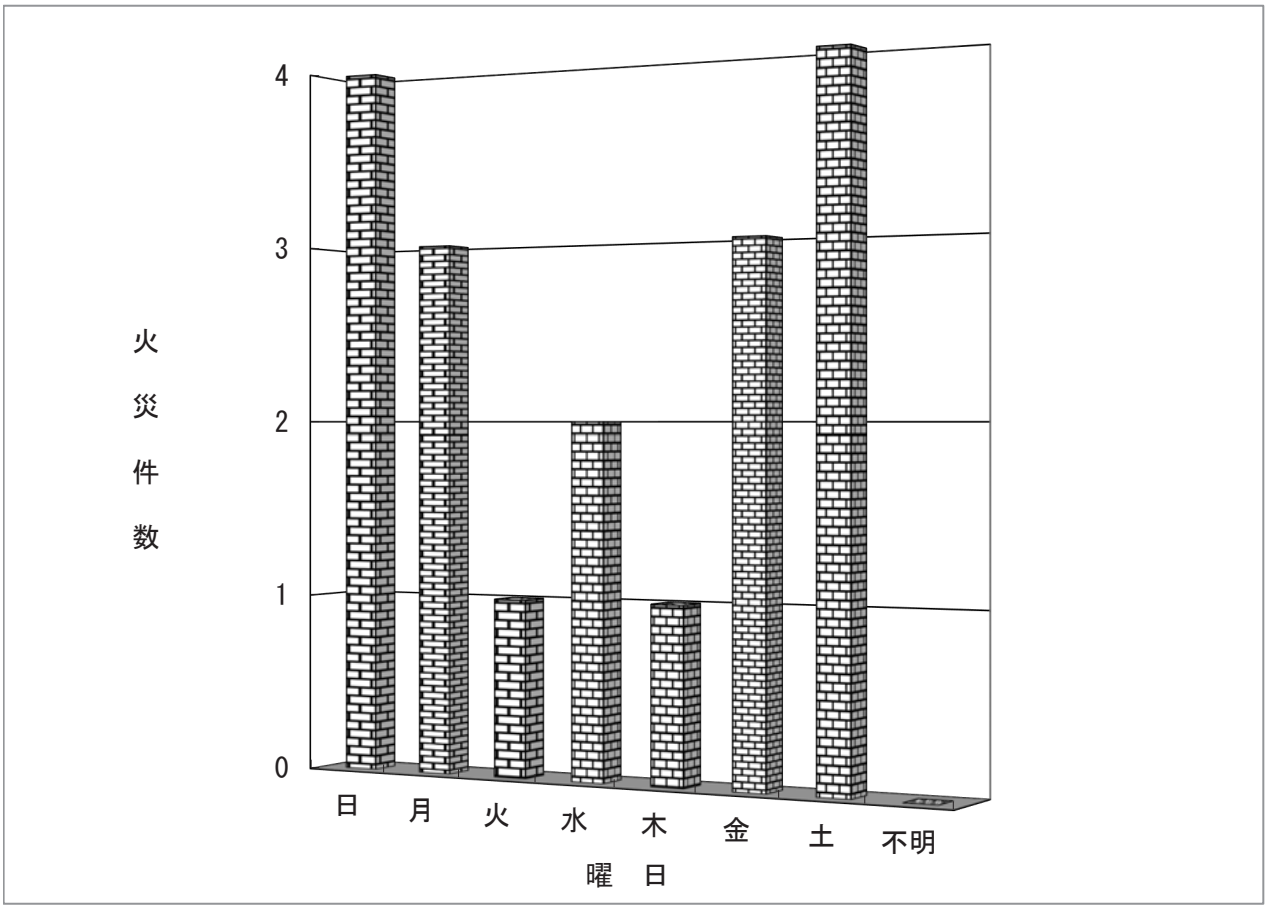
57. 火災覚知別件数

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）



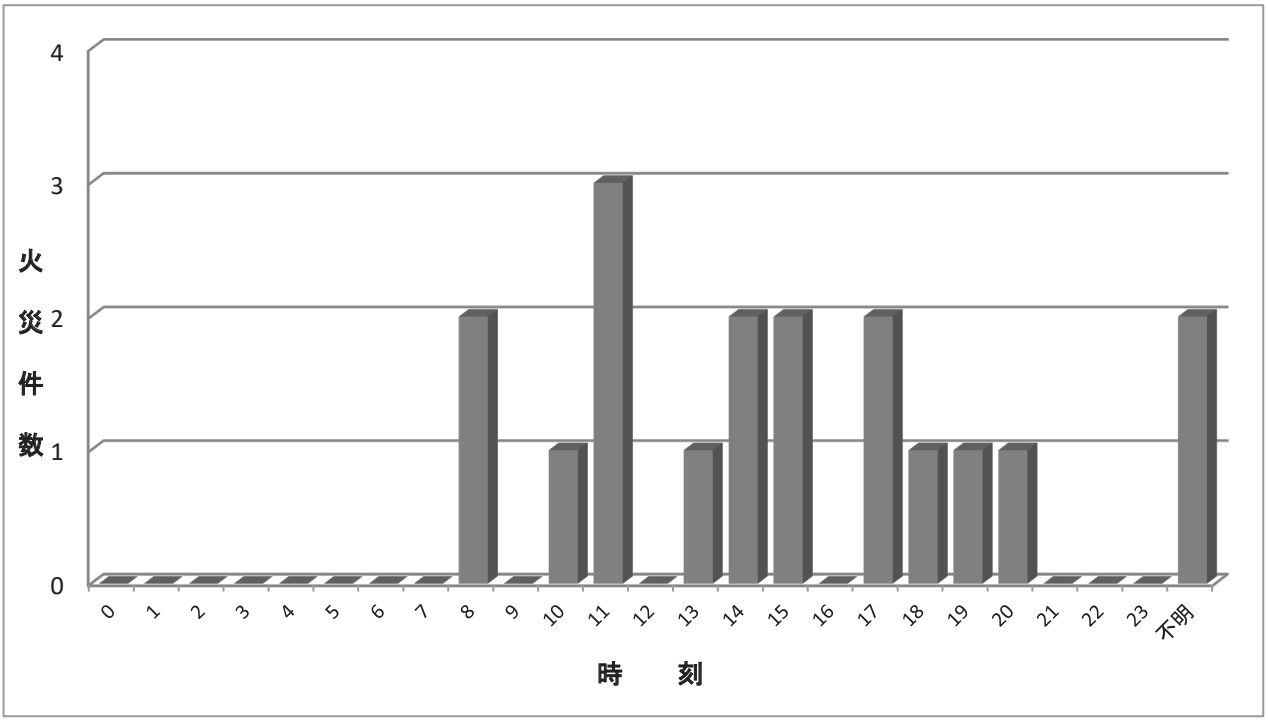
58. 曜日別出火件数

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）



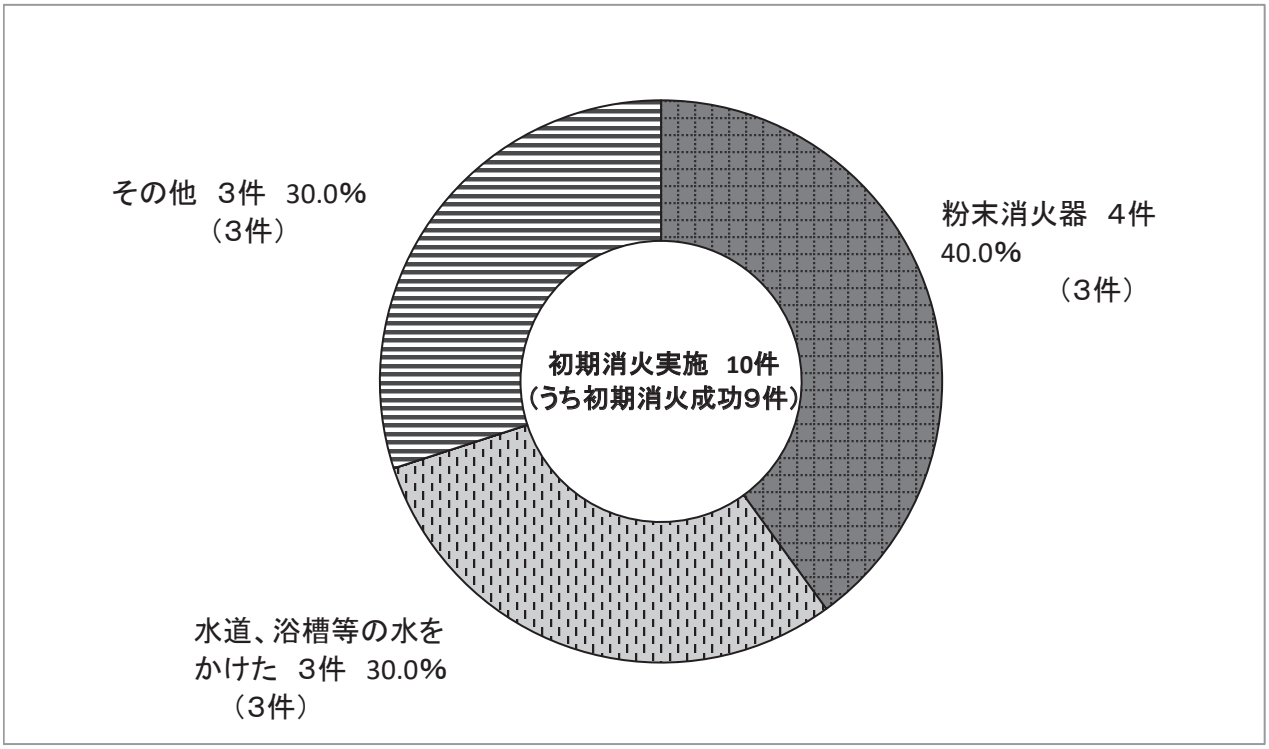
59. 時間別出火件数

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）



60. 初期消火器具等使用状況

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）



61. 建物用途別出火状況

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

項目 / 用途	件数	焼損面積（㎡）		損害額（千円）
		床面積	表面積	
複合用途	3	0	0	25
専用住宅	1	200	4	14,315
共同住宅	1	0	0	10
準住居	1	0	0	26
倉庫	1	0	0	6
工場	1	134	0	26,063
遊技場	1	0	0	786
その他	1	0	0	0
合計	10	334	4	41,231

62. 消防署火災出動状況

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

出動 / 月別	火災件数	放水台数	延べ人数（調査出動人員は除く）
1月	1	0	0
2月			
3月	2	3	17
4月	2	2	18
5月			
6月	3	4	46
7月	3	0	27
8月	1	0	0
9月	2	0	24
10月			
11月	2	3	35
12月	2	2	19
計	18	14	186

63. 過去の火災発生件数及び損害額

区分	発生件数	り災世帯数			り災棟数				り災人員数	死者数	負傷者数
		全損	半損	小損	全焼	半焼	部分焼	ぼや			
平成元年	27	3	1	7	5	1	11		38		3
2年	35	3	2	5	7	2	7		42	3	1
3年	30	1	1	7	4	2	9		41	1	4
4年	29	5	1	12	6	2	18		73		4
5年	39	2	2	9	5	3	17		49		9
6年	32	2	1	6	5	3	8		48	2	1
7年	24		1	5		2	1	9	23	1	
8年	46	1		8	5	4	7	4	45		2
9年	40	3	1	13	5	1	8	8	57	1	5
10年	20	3		9	7		7	5	44		6
11年	32	3	1	6	3	4	9	2	34	3	2
12年	49		1	9	2	2	9	7	31	1	1
13年	56	4		6	5	1	3	8	21	1	3
14年	67	2	1	3	3	1	5	5	20		2
15年	45	2	1	15	4	4	8	7	50	2	6
16年	70	2	2	9	3		6	7	43	1	3
17年	25	1	2	7	3	1	9	4	34	1	7
18年	28	5	2	14	5	3	5	11	55	1	6
19年	24	2	1	8	1	1	9	4	26		3
20年	34	4	2	12	5	4	5	11	61	2	10
21年	39	3	1	7	7	1	6	8	38	1	2
22年	30	3	2	7	6	2	4	7	37	3	5
23年	51	8	3	14	11	4	12	8	63	3	4
24年	26			6	3		11	3	17		2
25年	27			5	2		3	4	13		2
26年	26	1		3	3	1	4	5	16	2	1
27年	23			6	5		5	4	14		1
28年	21			14	1		5	4	33	1	2
29年	23	2	1	9	1		3	7	31		3
30年	15	3		3	2		4	2	17	2	1
令和元年	21	1		8	6		2	7	25	2	
２年	18	1		2	3	1	1	7	5		4

焼損面積			損害額（千円）					
林野（a）	建物（㎡）		合計	建物	林野	船舶 航空機	車両	その他
	床面積	表面積						
45	990		29,148	28,123	678		330	17
30	816		80,083	71,932		4,700	360	3,091
124	510		22,684	22,436			7	241
15	1,211		86,922	86,447			128	347
136	1,754		115,267	111,749	1,800			1,718
107	767		47,000	43,944	1,826		305	925
25	326		15,139	15,139				
90	646		35,008	28,347	24		3,193	3,444
4	650	29	45,989	44,149			1,840	
	594	76	77,653	75,275		390	1,591	397
26	1,573	8	78,997	72,286	308		1,899	4,504
116	683	45	86,426	83,822	681		1,923	
	671	6	58,611	42,466			16,145	
196	454	283	36,274	33,858			2,416	
17	588	63	70,380	68,184	245		1,845	106
199	688		75,243	71,959			2,922	362
1,279	452	23	52,347	49,447	2,428		433	39
6	461	34	39,294	32,425			574	6,295
	344	71	10,142	9,283			758	101
	637	78	96,903	96,663			240	
8	651	68	37,517	36,604			834	79
	546	62	50,793	34,042		15,454	862	405
	5,976	158	404,957	403,983			829	145
	549	8	32,970	32,821			140	9
	336	22	6,120	5,046			1,044	30
3	290	1	9,113	7,357			893	863
20	472	14	12,071	3,567			8,504	
3	73	3	15,211	11,039	503		1,255	2,414
	220	9	20,647	12,820			7,754	73
	170	9	4,710	4,436			259	15
	599	4	30,935	29,999			936	
	334	4	41,634	41,231			394	9

64. 名取市の主な火災

番　号	出　火　場　所	火　災 種　別	出　火　日　時		死　者	負傷者
1	高舘吉田字内舘地内	建　　物	S32. 4. 9	12:45		31
2	本郷字大門地内	車　　両	S47.12.15	0:34	2	1
3	増田字町屋敷東側 （現在、増田3丁目地内）	建　　物	S48. 6. 3	23:50		
4	増田字町屋敷西側 （現在、増田2丁目地内）	建　　物	S51. 2. 3	4:45	2	
5	植松字新橋地内	建　　物	S57. 1.30	21:30		4
6	高舘熊野堂字岩口中地内	建　　物	S57. 2. 7	23:25		2
7	閖上5丁目地内	建　　物	S60.11.19	0:50		
8	植松4丁目地内	建　　物	S61. 2.22	2:37		
9	下余田字飯塚地内	建　　物	S61. 2.25	2:00		1
10	高舘熊野堂字中沢地内 東北自動車道324.9Ｋｐ	車　　両	S62. 3.10	1:40	1	
11	小塚原字遠東地内	建　　物	H 5.11.11	7:15		
12	小塚原字遠東地内	建　　物	H10. 1. 6	0:31		
13	下増田字南原地内	建　　物	H23. 3.11	16:50		

り災世帯	り災人数	焼損棟数	焼損面積	損害額（千円）	出火原因
24	191	68	2,753 ㎡	22,193	たばこの投げ捨て
			1 台	360	衝突による火花
		1	1,112 ㎡	76,237	電気配線による短絡
4	30	7	279 ㎡	16,625	石油ストーブ
		2	429 ㎡	98,126	絶縁劣化
1	5	2	329 ㎡	15,015	風呂釜煙突
2	10	3	524 ㎡	55,647	不　明
		3	238 ㎡	29,261	放　火
1	5	2	275 ㎡	83,682	放　火
			13 台	106,376	衝突の火花
		1	1,114 ㎡	43,760	不　明
		2	1,218 ㎡	35,955	放火の疑い
		1	4,198 ㎡ 45 台	317,114	東北地方太平洋沖地震の津波によるショート

Ⅷ　救急・救助

65. 令和２年の救急・救助概要

１．救急概要

（１）出場件数と搬送人員

令和 2 年中における出場件数は 3,067 件(前年 3,397 件)、搬送人員は 2,864 人(前年 3,172 人)で前年と比較してみると、出場件数は 330 件、搬送人員は 308 人の減である。

これは、市内で一日平均約 8.4 回(前年約 9.3 回)救急車が出場したことになる。

搬送人員のうち名取市に住所を有する者は 2,366 人で、市民の約 33 人(前年約 31 人)に 1 人が救急車によって搬送されたことになる。

出場件数を事故種別で見ると、急病が 1,987 件と一番多く全体の約 65%を占め、次いで一般負傷 380 件、転院搬送 328 件、交通事故 238 件の順となっている。

（２）月別出場・搬送状況

出場件数の多かった月は 12 月の 295 件、少なかった月は 4 月の 206 件で、搬送人員では 8 月が 281 人と多く 4 月が 191 人と少なかった。

（３）曜日別・時間別搬送状況

出場件数は月曜日が 476 件と一番多く、次いで金曜日の 458 件、一番少ないのは日曜日の 387 件の出動件数であった。

事故種別から見て､急病では水曜日が 307 件と多く､次いで月曜日が 297 件となっている。交通事故の出場で多いのは火曜日で 44 件、少ないのは日曜日の 23 件である。

時間別出場件数では、10 時から 12 時までが 386 件で最も多く、最も少ないのは 2 時から 4 時、4 時から 6 時までの 106 件である。

（４）傷病程度別搬送状況

搬送した傷病者を傷病程度で分けると軽症 928 人、中等症 1,626 人、重症 271 人、死亡 38 人となっており、急病では中等症が多く、交通事故では軽症が一番多くなっている。

（５）医療機関への搬送状況

搬送人員 2,864 人のうち 110 人(全体の約 3.8%)が市内の医療機関に収容され、残りの人は主に仙台市および岩沼市の医療機関に収容されている。

収容に要した時間別搬送人員は、30 分以上 60 分未満が 2,029 人で全体の約 71%を占めている。

２．救助概要

令和 2 年中における出動件数は 46 件（前年 62 件)、救助人員は 30 人（前年 31 人）で、前年と比較してみると出動件数は 16 件、救助人員は 1 人の減である。

事故種別ごとの出動件数は、交通事故が 19 件と一番多く全体の約 41%を占め、次いでその他の事故が 11 件となっている。

事故種別ごとの救助人員は、交通事故が 11 人と一番多く、次いでその他の事故が 10 人、水難事故 5 人、機械による事故と建物等による事故がそれぞれ 2 人となっている。

なお、その他の事故とは、救急出動に伴う扉解除事案等であった。

66. 救急統計総括表

１．出場件数　　（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：件）

事故種別／区分	事故種別救急出場件数														
	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資材搬送	その他
件数	3,067	4	1	9	238	34	18	380	13	38	1,987	328			17

２．搬送人員　　（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：人）

事故種別／区分	事故種別搬送人員											
	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
人員	2,864	3		3	224	34	18	360	11	30	1,854	327

３．医療機関別搬送状況　（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：人）

区分＼医療機関	告知医療機関					その他の医療機関					計					その他の場所	合計
	国公立	公的	私的 病院	私的 診療所	計	国公立	公的	私的 病院	私的 診療所	計	国公立	公的	私的 病院	私的 診療所	計		
搬送人員	817	558	1,107		2,482	59		203	120	382	876	558	1,310	120	2,864		2,864
うち管外	817	558	1,107		2,482	10		188	74	272	827	558	1,295	74	2,754		2,754

４．転送回数別搬送状況　（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：人）

転送回数	0					1				
事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	計	急病	交通	一般負傷	その他	計
搬送人員	1,849	224	360	425	2,858	5			1	6

転送回数	2以上					合計				
事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	計	急病	交通	一般負傷	その他	計
搬送人員						1,854	224	360	426	2,864

67. 救急月別・事故別出場件数及び搬送人員

１．救急月別・事故別出場件数　（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：件）

月別／事故種別	計	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月
計	3,067	268	239	266	206	249	269	241	289	261	266	218	295
火　　災	4						1	1		2			
自然災害	1			1									
水　　難	9					3		3		2			1
交　　通	238	19	23	19	11	15	22	15	21	25	18	22	28
労働災害	34	5	4	3	3	2	4	1	6	2	3	1	
運動競技	18			1			1	1	7	2		4	2
一般負傷	380	28	31	27	35	33	28	30	30	29	34	28	47
加　　害	13	1	1		1	1	1	5		1		1	1
自損行為	38	4	4	4	2	6	1	4	3	2	5		3
急　　病	1,987	175	156	173	136	158	172	152	202	162	176	137	188
そ の 他	345	36	20	38	18	31	39	29	20	34	30	25	25

２．救急月別・事故別搬送人員

（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：人）

月別／事故種別	計	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月
計	2,864	258	221	240	191	230	247	227	281	237	257	202	273
火　　災	3						1			2			
自然災害													
水　　難	3					1		1					1
交　　通	224	21	22	16	10	15	23	15	21	22	14	23	22
労働災害	34	5	4	3	3	2	4	1	6	2	3	1	
運動競技	18			1			1	1	7	2		4	2
一般負傷	360	28	29	27	33	31	27	29	28	26	34	26	42
加　　害	11	1	1		1	1	1	4				1	1
自損行為	30	4	3	2	1	6	1	2	3		5		3
急　　病	1,854	163	143	155	125	144	157	146	198	151	171	124	177
そ の 他	327	36	19	36	18	30	32	28	18	32	30	23	25

68. 地区別救急出場件数

（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：件）

地区別／事故種別	計	増田	増田西	閖上	下増田	名取が丘	館腰	愛島	愛島台	高舘	ゆりが丘	那智が丘	相互台	みどり台	仙台空港	自動車専用道路	管外	その他
合　計	3,067	795	566	169	240	148	303	256	41	237	100	75	69	53	12	2	1	
火　災	4	2					2											
自然災	1						1											
水　難	9			9														
交　通	238	67	36	21	18	1	34	28	2	25	1	1	1			2	1	
労　災	34	9	2	2	4		4	2	3	5	1	1	1					
運　動	18	4	1	2				6		3			1	1				
一　般	380	91	74	21	29	20	36	32	5	26	13	17	11	5				
加　害	13	3	4		1		2	2						1				
自　損	38	6	7	2		2	8	2		5			4	2				
急　病	1,987	478	337	112	158	123	212	144	31	164	85	55	51	25	12			
その他	345	135	105		30	2	4	40		9		1		19				

69. 事故別救急出場件数及び搬送人員

（令和２年１月１日～令和２年12月31日）

区分	年別	合計	事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
出場件数（単位：件）	元年	3,397	1	3	11	278	27	19	355	18	42	2,227	416
	２年	3,067	4	1	9	238	34	18	380	13	38	1,987	345
搬送人員（単位：人）	元年	3,172		3	6	272	26	18	325	13	30	2,076	403
	２年	2,864	3		3	224	34	18	360	11	30	1,854	327

70. 事故別傷病程度状況(医療機関搬送分のみ)

(令和2年1月1日～令和2年12月31日　単位：人)

傷病程度 / 事故種別	合　計	死　亡	重　症	中等症	軽　症	その他
計	2,864	38	271	1,626	928	1
火　　災	3			2	1	
自 然 災 害						
水　　難	3	1	1		1	
交　　通	224	2	10	73	138	1
労 働 災 害	34		2	22	10	
運 動 競 技	18			3	15	
一 般 負 傷	360	1	39	160	160	
加　　害	11			3	8	
自 損 行 為	30	1	6	18	5	
急　　病	1,854	33	175	1,078	568	
そ　の　他	327		38	267	22	

71. 事故別・曜日別救急出場件数

(令和2年1月1日～令和2年12月31日　単位：件)

曜日別 / 事故種別	合　計	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
計	3,067	387	476	421	456	436	458	433
火　　災	4						3	1
自 然 災 害	1				1			
水　　難	9			1	3			5
交　　通	238	23	34	44	38	31	41	27
労 働 災 害	34	1	7	9	6	5	3	3
運 動 競 技	18	8		2	1		1	6
一 般 負 傷	380	43	58	49	47	55	58	70
加　　害	13	3		2	1	1	4	2
自 損 行 為	38	6	4	5	7	5	6	5
急　　病	1,987	279	297	267	307	283	288	266
そ　の　他	345	24	76	42	45	56	54	48

72. 事故別・年齢別救急搬送人員状況

（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：人）

事故種別 / 年齢区分		合計	男女別計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合　計	男	2,864	1,434	3		3	122	29	16	166	1	14	920	160
	女		1,430				102	5	2	194	10	16	934	167
0～9	男	153	90				1			29			50	10
	女		63				10			17	1		23	12
10～19	男	139	89				19		14	7		3	42	4
	女		50				10	1	1	5		2	26	5
20～29	男	173	73			1	20	2	1	12		4	28	5
	女		100				12	1	1	5		1	61	19
30～39	男	193	84				10	2		8		2	54	8
	女		109				13	1		4	2	5	69	15
40～49	男	221	116	1			15	8		7		3	68	14
	女		105				11			4	5	4	67	14
50～59	男	235	125				16	5		10			77	17
	女		110				14			12		2	74	8
60～69	男	347	198	1		2	16	8	1	17			132	21
	女		149				19	2		17		1	93	17
70～79	男	484	247				14	3		24		1	166	39
	女		237				9			37			165	26
80以上	男	919	412	1			11	1		52	1	1	303	42
	女		507				4			93	2	1	356	51

73. 時間別救急出場件数

（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：件）

時間別／事故種別	計	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24
計	3,067	142	106	106	215	345	386	359	323	333	297	267	188
火　災	4					3		1					
自然災害	1						1						
水　難	9				1	1	2		3		2		
交　通	238	3	3	9	14	28	20	34	31	42	26	23	5
労働災害	34			1		5	8	6	6	5			3
運動競技	18					1	5	3	6	3			
一般負傷	380	17	8	9	31	45	39	50	46	38	43	28	26
加　害	13	2	2		1			2	2	2	1	1	
自損行為	38	3	3	1	4	2	6	2	2	5	7	3	
急　病	1,987	111	87	84	161	226	200	196	181	192	199	198	152
そ の 他	345	6	3	2	3	34	105	65	46	46	19	14	2

74. 市町村別傷病者搬送先状況

（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：人）

搬送人員合計	名取市内搬送人員	仙台市内搬送人員	岩沼市内搬送人員	その他の地区搬送人員	県外搬送人員	Ｄｒヘリ引継ぎ
2,864	110	2,086	638	21	1	8

75. 発生場所別搬送人員

（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：人）

発生場所／区分	計	住　宅	公衆出入場	仕事場	道　路	その他
計	2,864	1,625	877	54	287	21
急　病	1,854	1,363	412	30	42	7
交　通	224	2	16	1	204	1
一般負傷	360	222	90	1	40	7
そ の 他	426	38	359	22	1	6

76. 不搬送別状況

（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位:件）

事故種別／種別	計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
計	225	1	1	6	34			20	2	8	135	18
緊急性なし	32			1	8			5			16	2
傷病者なし	22	1		4	4					1	3	9
拒否	35				8			6	1		19	1
酩酊												
死亡	26				1					7	18	
現場処置	99		1	1	10			8	1		75	3
誤報	3				1							2
その他	8				2			1			4	1

77. 病院収容所要時間別搬送人員

（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位:人）

時間／事故種別	救急出場から医療機関に収容するまでに要した時間別搬送人員						
	計	10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上
計	2,864		1	128	2,029	688	18
急病	1,854			51	1,336	452	15
交通	224			8	138	78	
一般負傷	360		1	10	236	113	
その他	426			59	319	45	3

78. 救急隊員の行った応急処置（特定行為等）

（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：件）

応急処置＼事故種別			合計	急病	交通	一般負傷	その他
応急処置を受けた人員（不搬送を含み単位は人）			2,958	1,929	236	368	425
応急処置件数合計			11,718	7,863	899	1,333	1,623
応急処置の内容	止血		69	13	9	33	14
	固定		108	5	52	29	22
	人工呼吸		4	4			
	心臓マッサージ		1		1		
	心肺蘇生		69	57	2	3	7
		うち自動	37	31	1	1	4
	酸素吸入		435	328	13	7	87
	気道確保（救命士の特定行為以外）		64	53	3	2	6
	保温		43	27	1	10	5
	被覆		152	15	42	73	22
	在宅療法継続		4	4			
	その他応急処置		2,732	1,789	211	343	389
	血圧測定		2,774	1,817	225	331	401
	聴診器聴取		289	235	16	17	21
	SPO_2測定		2,882	1,879	231	358	414
	心電図		1,823	1,400	83	124	216
	救命士処置	除細動	7	6			1
		血糖測定	74	72			2
		※特定行為処置件数	188	159	10	3	16

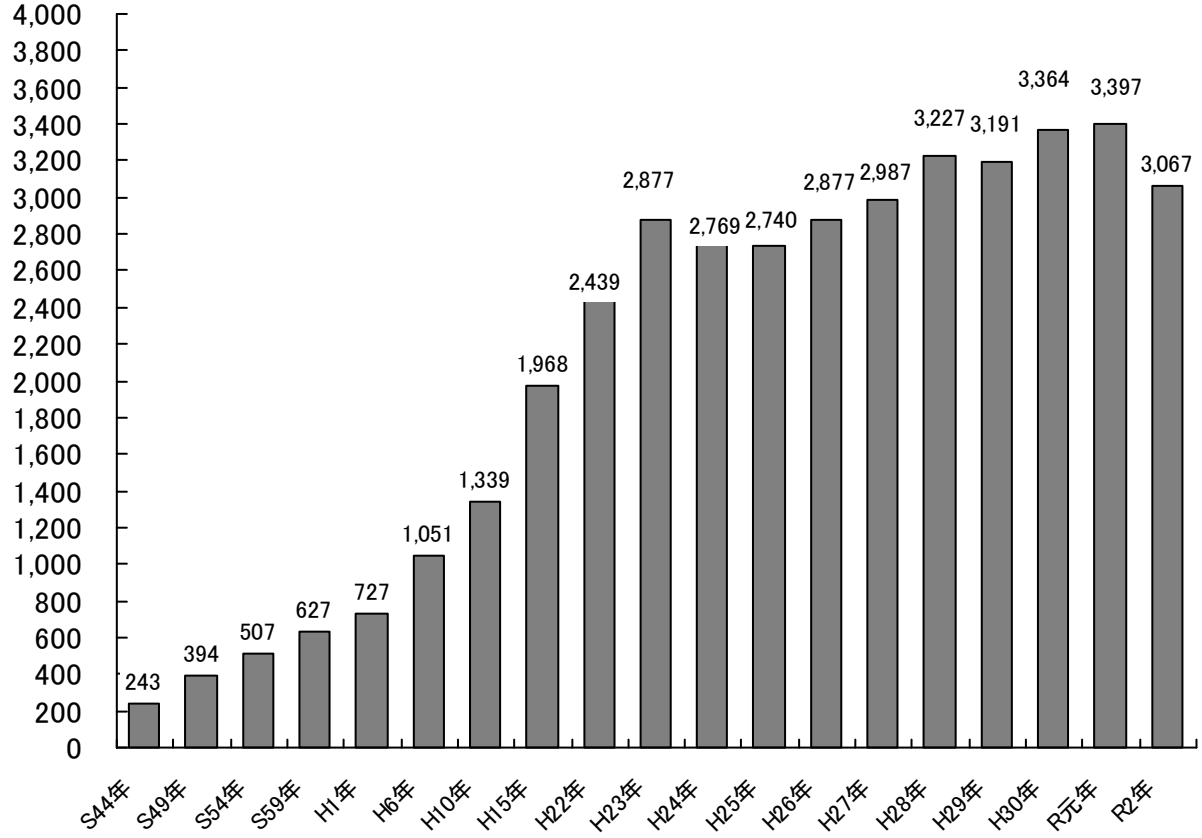
※特定行為処置件数			188	159	10	3	16
内訳	気道確保	上気道デバイス	8	8			
		挿管チューブ	5	3		1	1
	静脈路確保	心肺停止前	90	75	8		7
		心肺停止後	40	34	1	1	4
	薬剤投与	アドレナリン	37	31	1	1	4
		ブドウ糖	8	8			
特定行為を受けた人員（単位は人）			143	121	9	2	11

79. 救急隊別出場件数

（令和２年１月１日～令和２年12月31日　単位：件）

救急１号車	救急２号車	救急３号車	救急５号車	救急６号車	その他の車両
187	987	140	1,232	521	0

80. 救急業務発足以来の救急出場推移



81. 応急手当普及啓発活動状況

（令和２年１月１日～令和２年12月31日）

講習会種別	開催回数 累計	受講人数 累計	内容
応急手当講習会	22	590	救急車や医師が到着するまでに実施する応急手当の方法(3時間未満)
普通救命講習会	34 1,209	535 21,147	心肺蘇生法、ＡＥＤ取扱い要領、大出血時の止血法(3時間)
上級救命講習会	0 31	0 367	心肺蘇生法、ＡＥＤ取扱い要領、大出血時の止血法、傷病者管理、外傷の手当搬送法等(8時間)
応急手当普及員講習会	1 8	3 30	事業所の従業員や、各種団体の関係者に対して普通救命講習の指導者になる為の講習(24時間)

82. 月別救助出動状況及び救助人員

（令和2年1月1日～令和2年12月31日）

区分＼月別	事故種別出動件数　（単位：件）										事故種別救助人員　（単位：人）									
	合計	火災	交通事故	水難事故	風水害自然災害	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故	爆発事故	その他の事故	合計	火災	交通事故	水難事故	風水害自然災害	機械による事故	建物等による事故	酸欠事故	爆発事故	その他の事故
合 計	46		19	7		3	6			11	30		11	5		2	2			10
1 月	4		1			2	1				4		1			2	1			
2 月	5		3			1	1				2		2							
3 月	4		1							3	3									3
4 月	3		2							1	3		2							1
5 月	2			2																
6 月	4		2				1			1	3		2							1
7 月	4			3						1	1			1						
8 月	2						1			1	2						1			1
9 月	5		3	1			1				4		1	3						
10 月	4		1							3	3									3
11 月	4		2				1			1	3		2							1
12 月	5		4	1							2		1	1						

83. 救助完了時間別状況

（令和2年1月1日～令和2年12月31日　単位：件）

事故種別	覚知から救出完了までに要した時間							救助を要しなかったもの
	合計	10分未満	～20分	～30分	～60分	～120分	120分以上	
合　　計	46	1	11	11	3	1	0	19
火　　災	0							
交通事故	19	1	4	5				9
水難事故	7			1	1	1		4
自然災害	0							
機械事故	3		1	1				1
建物事故	6		2					4
酸欠事故	0							
爆発事故	0							
その他の事故	11		4	4	2			1

84. 救助業務過去10年間の救助出動推移

種別／年	救助人員（人）	出動件数（件）	出動件数の内訳								
			火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	爆発	その他
平成２２	13	15	2	6	2		1	1			3
平成２３	327	46	3	9	3	22	1	2	1		5
平成２４	17	29		18	3		2	1	1		4
平成２５	15	33		15	1		2	2	3		10
平成２６	12	30	9	12	2						7
平成２７	14	37	1	14	6			4	1		11
平成２８	20	45	2	21	3		3	3			13
平成２９	43	49	1	16	9	3	2				18
平成３０	29	47	3	23	4				2		15
令和元	31	62		22	9	7		4			20
令和２	30	46		19	7		3	6			11

Ⅸ　消防協力団体

かじだー！

火の用心 7つのポイント
寝たばこや
たばこの投げ捨て
を
ない
子供はマッチ
ライターで
遊ばせない
の強い時は
たき火を
しない
天ぷらを
揚げるときは
その場を
離れない
家のまわりに
燃えやすいものを
置かない
ストーブには
燃えやすいものを
近づけない
119

85. 消防協力団体の概要

市内には、自分達の地域・職場は自分達で守るという理念のもとに防火協力会・防災安全協会・婦人防火クラブ及び幼年消防クラブ等数多くの消防協力団体があり、それぞれ活発な活動を行っている。

名取市防火協力会連合会は、昭和 36 年以降市内各地区に全戸加入で結成された。その各地区防火協力会をもって昭和 46 年に連合会組織を設立し、年間を通し自主的な防火活動を行うとともに、地域防災の要である消防団への協力及び婦人防火クラブの育成等、地域ぐるみの防火体制の協力に努めているところである。

名取市防災安全協会は、名取市危険物安全協会と名取市防火管理者協議会が統合し平成 26 年 5 月に設立され、市内において防火管理者を有する事業所及び危険物施設を所有する事業所、さらに本会の目的達成に賛同するものをもって組織され、現在は 138 事業所が加入している。今後は会員事業所間の協力関係をより密なものとし、本来の目的である危険物災害の予防と防火管理の徹底のさらなる普及啓発に努め、災害発生の防止に努める。さらに、会員のガソリンスタンド事業所は大規模災害が発生した場合、災害活動に対し協力支援することを目的に平成 16 年 6 月 29 日、名取市と覚書を締結し、今後の大規模災害対応に大きく貢献するものと思われる。

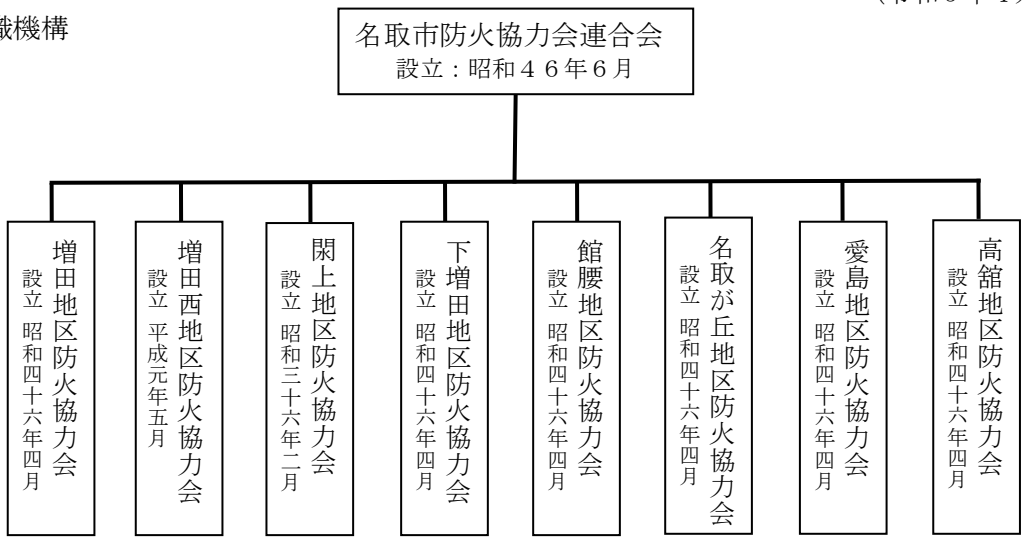
名取市婦人防火クラブ連絡協議会は、54 の単位クラブから 7 地区の連絡協議会で構成されている。本会の事業は、各家庭の防火はもとより地域ぐるみの防火の輪を広げ、毎年防火推進大会を開催し、火災予防を呼びかけるとともに、初期消火訓練及び炊き出し訓練等を実施し、防災支援活動において、積極的に活躍している。

幼年消防クラブは、幼稚園 3 クラブ・保育所 11 クラブで結成されており、子供の火遊びによる出火防止を重点に防火思想の普及啓発に努めている。

86. 名取市防火協力会連合会

（令和３年４月１日現在）

１．組織機構



２．会員数　名取市全世帯

３．目　的

この会は、名取市消防本部の指導の下に、市内地区防火協力会相互の連絡協調を図り、市民に対する防火思想の普及と啓発に努め、火災予防に関する調査研究を行うことにより社会公共の福祉の増進と明るい地域社会の建設に寄与することを目的とする。

４．事　業

(1)　会員相互並びに関係機関、団体との連絡協調
(2)　予防消防に関する調査と研究
(3)　火災予防思想の啓蒙と周知徹底
(4)　消防活動に関する協力援助
(5)　その他連合会の目的達成に必要な事項

87. 外郭団体

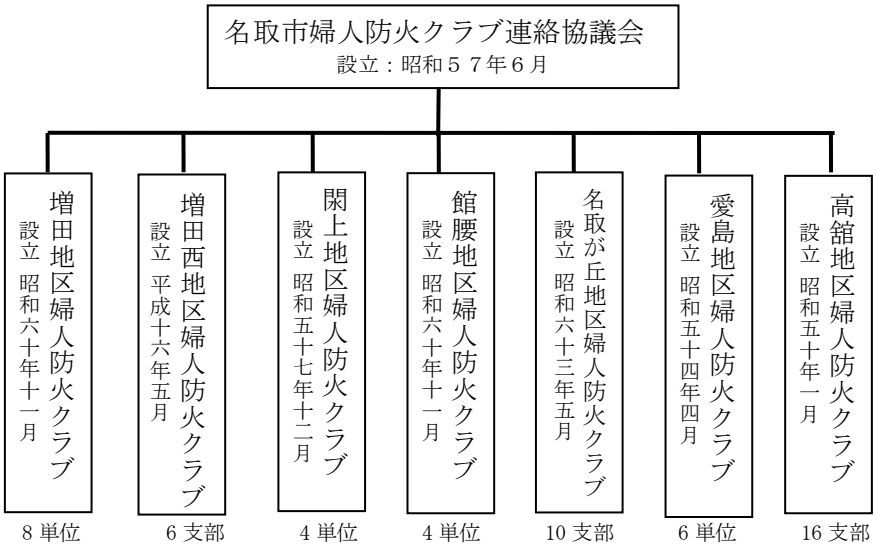
（令和３年４月１日現在）

名取市防災安全協会	
設立　平成２６年５月	会員数　１３８事業所
目　的：　本会は、会員相互の親睦と融和を図り、防火管理の徹底と危険物取扱の適正に努め、災害の発生を未然に防止し、もって会員の事業発展と社会公共の福祉増進に寄与することを目的とする。	
事　業 ・危険物取扱者試験準備講習会の開催 ・普通救命講習会の開催 ・防災訓練の実施 ・研修視察の実施 ・会員親睦会の開催 ・機関紙「会報」の発行 防火啓発事業 ・秋・春の火災予防運動への協賛 ・防火ポスター、標語審査会 ・婦人防火推進大会への協賛	

88. 名取市婦人防火クラブ連絡協議会

（令和３年４月１日現在）

１．組織構成



２．会員数　12,385 名（名取市婦人防火クラブ連絡協議会）

３．目　的

この会は、名取市消防本部管内、単位婦人防火クラブ及び各地区連絡協議会等の相互の連絡協調を図るとともに、予防消防に関する調査研究を行い、市民に対する防火思想の普及と啓発に努め、防火意識の向上発展に寄与することを目的とする。

４．事　業

(1)　会員相互並びに関係機関、団体との連絡協調
(2)　火災予防思想の啓蒙と周知徹底
(3)　火災予防についての調査及び研修
(4)　その他の目的達成に必要な事項

89. 幼年消防クラブ

（令和３年４月１日現在）
（クラブ員 1,015 名）

クラブ名	設立
なとり幼稚園幼年消防クラブ	平成 22 年 4 月
なとり第二幼稚園幼年消防クラブ	平成 22 年 4 月
美田園わかば幼稚園幼年消防クラブ	昭和 61 年 11 月
名取が丘保育所幼年消防クラブ	平成元年 1 月
手倉田くじら保育園幼年消防クラブ	平成 31 年 4 月
増田保育所幼年消防クラブ	平成元年 1 月
名取みたぞのこども園幼年消防クラブ	平成 24 年 9 月
ゆりが丘保育所幼年消防クラブ	平成 6 年 4 月
高舘あおぞら保育園幼年消防クラブ	平成 13 年 4 月
名取あけぼの保育園幼年消防クラブ	平成 26 年 4 月
愛の杜めぐみ保育園幼年消防クラブ	平成 28 年 7 月
名取市閖上保育所幼年消防クラブ	平成 31 年 4 月
杜せきのしためぐみ保育園幼年消防クラブ	令和 元 年 5 月
ぷらむ保育園館腰幼年消防クラブ	令和 2 年 4 月

令 和 ３ 年 版 消 防 概 要

令和３年８月６日発行

編集発行　　名取市消防本部
〒981-1224
宮城県名取市増田五丁目１８番３２号

電　話　（０２２）３８２－０２４２
ＦＡＸ　（０２２）３８３－８７１１
E-MAIL　natori-fd@aioros.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.fdn119.jp

間紙イラスト 企画・制作 全国消防長会広報防災委員会
全国消防イメージキャラクター「消太」